

**令和6年度
南城市における交通環境学習普及事業**

報告書

令和7年3月

沖縄県南城市企画部交通政策課

目 次

第1章 .事業の実施概要	1
1.業務実施の目的.....	1
2.交通環境学習に関するこれまでの取組	1
3.事業の実施概要.....	4
第2章 .交通環境学習プログラムの検討	5
1.3 箇年における事業実施の流れの整理	5
2.令和6年度事業の実施内容の検討	6
第3章 .交通環境学習プログラムの施行	7
1.モデル校（佐敷小学校）における施行	7
2.市内小学校（知念小学校）での施行	54
3.市HPでの広報.....	57
第4章 .先進地域の視察	63
第5章 .委員会の運営	65
1.第1回委員会	65
2.第2回委員会	84
第6章 令和6年度事業の評価と令和7年度事業の進め方	96
1.令和6年度事業の評価.....	96
2.令和7年度事業の進め方（案）	97

第1章 事業の実施概要

1. 業務実施の目的

南城市においてはこれまでに、小中学生を対象に乗り方教室を実施する等、令和元年度より運行している市内線バス「N バス」(コミュニティバス)の継続的な利用促進に力を入れている。

本事業では、N バスの路線網が市内全域に整備されていることを活かした南城市独自のモビリティ・マネジメント教育の仕組みを確立するほか、副読本等の学習ツールの作成による市内どの学校においても一貫したモビリティ・マネジメント教育の実施が可能な環境づくりを目的に、令和 6 年度から令和 8 年度の3 箇年にわたり実施する。

初年度の令和 6 年度は、昨年度エコロジーモビリティ財団の教員支援制度を活用し交通環境学習を実施した佐敷小学校をモデル校として授業を実施し、交通環境学習を試行するとともに、副読本等の学習ツールの検討を目的に実施した。

2. 交通環境学習に関するこれまでの取組

佐敷小学校では、令和 5 年度に下記の概要で交通環境学習が実施されている。

表 1-1. 佐敷小学校での令和 5 年度の交通環境学習の実施概要

項目	内容
学習名称	南城市の N バスを利用した歴史史跡巡り(ふるさと学習)
テーマ	(1)南城市内を走る N バスを利用して「市内歴史史跡巡り」を児童目線で創る過程の中で、自分たちの住む地域や南城市の良さについて再認識する。 (2)地域の歴史等に目を向け、体験をしながら課題を発見し、小学生なりの方法で諸課題の解決のために積極的に関わり調査し、実践力を養う。 (3)自分たちの創った N バス利用が、これからの南城市の観光やまちづくりに貢献でき社会に働きかける機会となり、より自分事としてかかわる力を育てる。
実施教科	総合的な学習の時間、国語、社会科、英語、家庭科
実施単元数	「平和発信地 沖縄！ 佐敷！」(総合) 70 時間 「町の未来をえがこう！ 町の幸福論-コミュニティデザインを考える」(国語) 13 時間 「戦争と人々の暮らし」(社会科) 7 時間 「平和で豊かな暮らしを目指して」(社会科) 8 時間 「世界の人々とともに生きる」(社会科) 8 時間 「共に生きる地域での生活」(家庭科) 4 時間 「持続可能な世界を生きる」(家庭科) 4 時間 「This is my town」(外国語) 8 時間
対象	6 年、3 学級、73 名
実施内容	総合的な学習の時間を柱に、各教科を横断的な学習として取り組まれている。 平和学習を入口として、南城市内の平和史跡調べ、身近な平和に関連する史跡等を調べた。その後、南城市の平和やよさを発信できる場所等にも子ども達の関心が広がっていった。市内に点在する平和史跡や市のよさを発信できる場所等を、N バスを利用してめぐるルートを自分たちで考えていく中で、N バスの利用やその良さを知り、提案などを行った。観光協会や、N バスの協力を得て、地域物産館がんじゅう駅でポスター掲示等の提案を実施してもらった。

出典: 令和 5 年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)に関わる教員支援制度実施結果報告書

導入

1. 沖縄戦を入りに、南城市の平和を考え調べていく活動を行った。

関連教科：「戦争と人々の暮らし」 7時間

「平和で豊かな暮らしを目指して」 8時間（社会科）

児童は、社会科の時間に学んだ「第2次世界大戦」のことをもとに、沖縄での戦争について調べ、自分たちの住んでいる南城市の戦争について調べていった。

展開

2. 平和学習として、沖縄戦を入りに考えたことを広げる活動に移っていく。平和を身近な平和（身の回りの平和）を広げていくことを学び、そこから戦争の史跡だけでなく、もっと平和をアピールするもの、南城市外の人に知ってほしいもの、観光客に見て欲しいものなど、どんなものがあるかを調べたり調査したりする活動を行う。

関連教科：「世界の人々とともに生きる」 8時間（社会科）

「共に生きる地域での生活」 4時間

3. 調べていくうちに、実査に見てみたいとの声から、近くは歩いていけるけれども距離のある地域の史跡等はどうするのか。そこで、自動車やバスの利点について寺本先生（東京成徳大学）を招聘して、授業をしていただいた。

余談であるが、授業実践後は校内研修として職員へ「授業の取り組みの説明」と「交通モビリティの考え」等、講話をしていただいた。

発展

4. 調べる活動をしていく中で、実際にその史跡等への見学や聞き取り調査をおこなっていった。



【Nバスの活用と利用した際のまとめ】

実際にNバスを利用して史跡や道の駅、市役所など人が集まる場所へ行き、聞き取り活動を行った。

5. Nバスの活用について、Nバスを利用した史跡巡りやこれからのNバス、Nバスと市の観光協会へのアプローチなど、様々な視点から子ども達の学びが広がっていった。



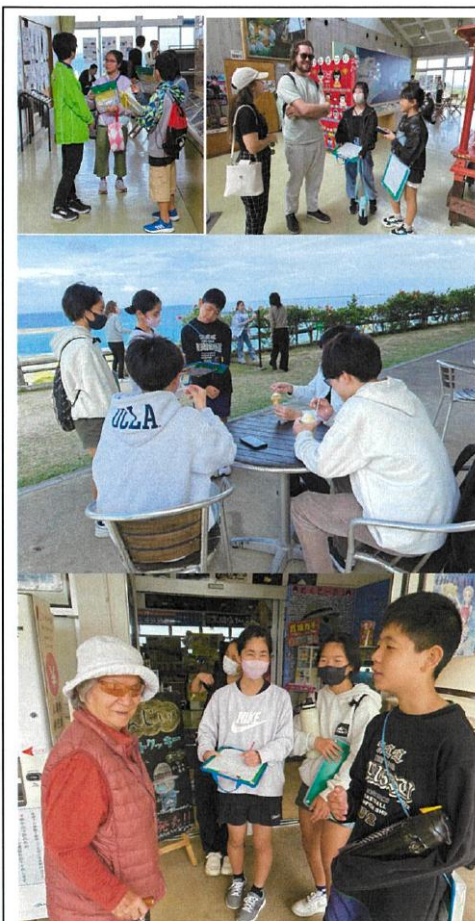
【寺本先生の授業の様子】

図1-1.令和5年度の佐敷小学校の取組の学習の流れ

出典：令和5年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）に関わる教員支援制度実施結果報告書



【Nバスを利用して調査活動した後の良さや発見の様子】



【観光客・外国人や地元の方への聞き取りの様子】



【Nバスの良さや提案】

まとめ及び発信

児童が調べたことをポスターやプレゼンテーションを作成し、観光協会の方々やNバス関係者への提案を行った。

聞き取り調査において、外国の方々も多くいることから、英語の学びを生かし英語での南城市アピール・Nバスアピールのポスターを作成し、南城市の道の駅「がんじゅう駅」で1ヶ月間掲示をしていただいた。

ある学級では、Nバスで聞き取り調査をしている中で、海岸の汚れに関心が向かい海岸清掃から始め、そのゴミや拾った物を利用してアート作品にし、募金活動を行い、その収益金については能登半島地震への募金をおこなった。

関連教科：「町の未来をえがこう/町の幸福論ーコミュニティデザインを考えるー」

(国語) 13時間

「持続可能な世界を生きる」4時間(家庭科)

「This is my town.」8時間(外国語)

図1-2.令和5年度の佐敷小学校の取組の実施状況

出典:令和5年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)に関わる教員支援制度実施結果報告書

3.事業の実施概要

本事業では、Nバスの路線網が市内全域に整備されていることを活かした南城市独自のモビリティ・マネジメント教育の仕組みを確立するほか、副読本等の学習ツールの作成による市内どの学校においても一貫したモビリティ・マネジメント教育の実施が可能な環境づくりを目的に、令和6年度から令和8年度の3箇年にわたり実施する。

今年度の事業は、昨年度エコロジー・モビリティ財団の教員支援制度を活用し交通環境学習を実施した佐敷小学校をモデル校として授業を実施し、副読本別冊の作成に向けた検討、学習導入ツールの作成、交通環境学習の施行や、ツールの作成、横展開として市内小学校での交通環境学習等の事業を実施した。

第2章 交通環境学習プログラムの検討

1.3 箇年における事業実施の流れの整理

事業の実施目的を踏まえ、令和6年度から令和8年度の3箇年において、今後、市内の全小学校を対象に、副読本別冊による交通環境学習プログラムの実施に向け、モデル校である佐敷小学校を中心に、以下の流れで進めていくこととした。

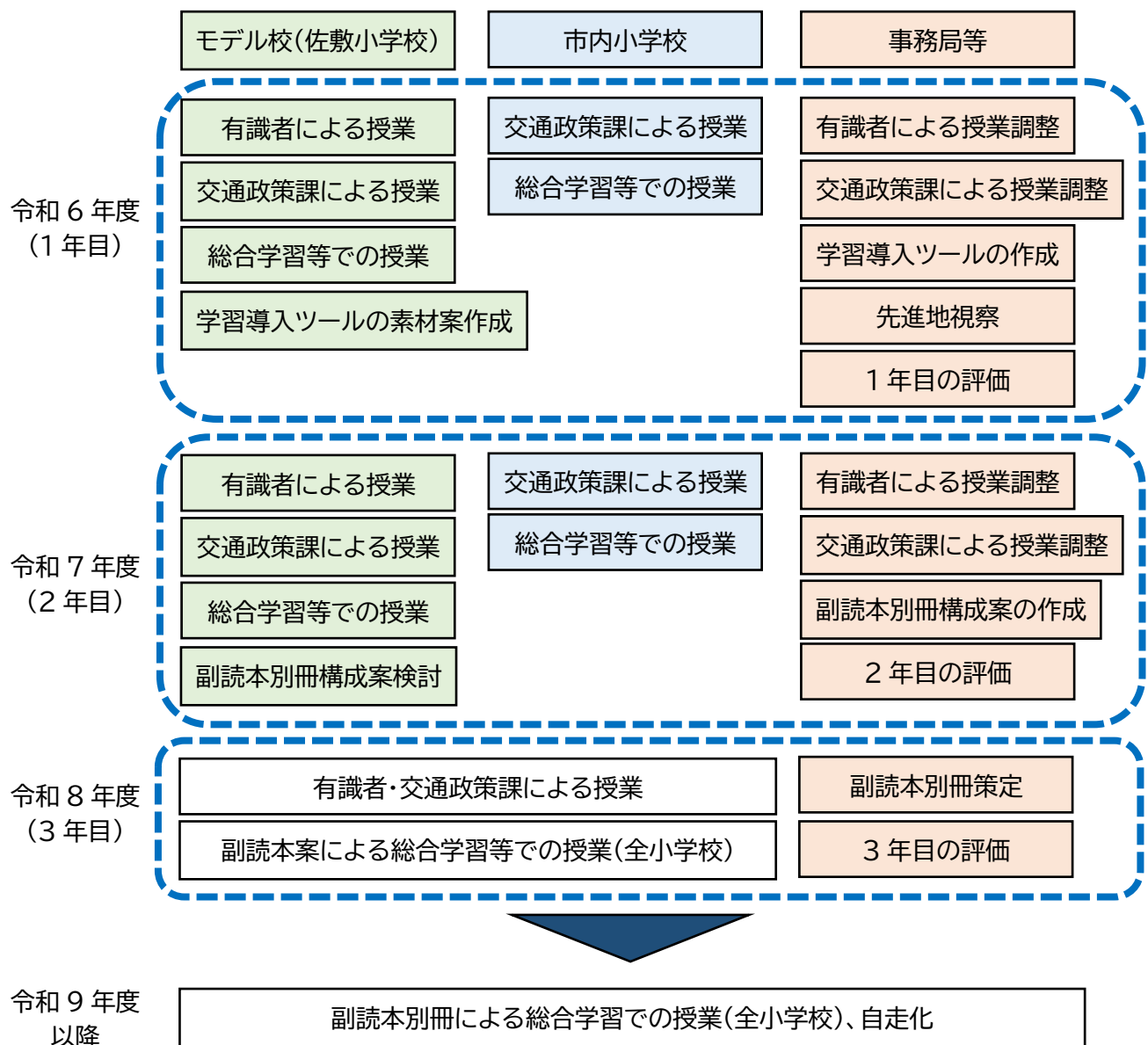


図 2-1.3 箇年における事業実施の流れ

2. 令和6年度事業の実施内容の検討

今年度の取組は、はじめに、市交通政策課による授業で市内の公共交通の状況や、活用の方法等を知ってもらい、その後、複数回の総合学習の時間で、今年度実施したい取組を児童に検討してもらい、その中でNバスへの愛着醸成や、学習ツールの作成につながるような取り組みを実施する流れで進めていった。

モデル校の佐敷小学校では、6年1組と2組の2クラスで取組を実施したが、市交通政策課による授業に加え、有識者による授業も実施した。また、知念小学校では4年生を対象に実施した。

表 2-1. 令和6年度事業の実施内容

区分	取組名	取組概要
モデル校 (佐敷小学校)	有識者による授業	名桜大学特任教授の寺本氏、バスマップ沖縄主宰の谷田貝氏による授業を実施
	市交通政策課による授業	南城市交通政策課による授業を実施
	乗車体験	児童たちが考えた行程で、乗車体験を実施。 おきなわワールド訪問
	ツール作成	利用促進につながるツールとして、缶バッジや、トランプ、かるた、絵本、替え歌等を作成
	Nバス車内の飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、クリスマスのNバスの車内の飾りつけを実施
市内小学校 (知念小学校)	市交通政策課による授業	南城市交通政策課による授業を実施
	乗車体験	児童たちが考えた行程で、乗車体験を実施。 美らいちご等訪問
	Nバス車内の飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、バレンタインデーのNバス車内の飾りつけを実施
事務局	先進地視察	MM教育の先進地である札幌市を視察

第3章 交通環境学習プログラムの施行

ここでは、第2章で示した交通環境学習プログラムの実施状況について整理した

1. モデル校(佐敷小学校)における施行

1-1 市交通政策課による授業

総合学習の時間を使って交通環境学習プログラムを進めるにあたり、Nバスをはじめとする南城市の公共交通の現状や、公共交通に関して利用できる情報等を知ってもらうため、市交通政策課による授業を実施した。

【授業での説明内容】

- 南城市の公共交通
- 南城市の公共交通再編までの取組み
- Nバスの利用状況
- モビリティ・マネジメント教育

■授業に使用したスライド



もくじ



1. 南城市の公共交通
2. 南城市の公共交通再編までの取組み
3. Nバスの利用状況
4. モビリティ・マネジメント教育

1. 南城市の公共交通



公共交通の現状

【既存の公共交通】

- バス
 - ・路線バス、コミュニティバス
(Nバス/R1年10月から運行)
- タクシー
 - ・大里タクシー、山一交通 市内全域
- デマンド交通
 - ・おでかけなんじい 市内全域
H25実証運行開始 H28本格運行
- 離島航路
 - ・久高海運 安座真港↔久高港

※赤字、下線は市が運営主体

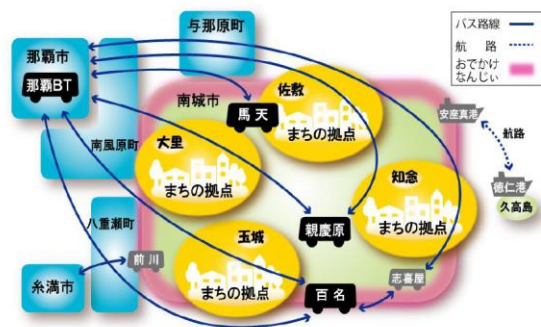


2. 南城市の公共交通再編までの取組み



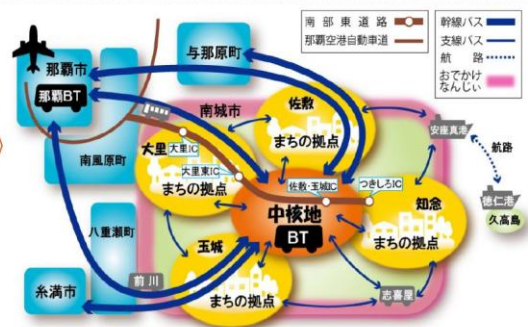
再編前

- バス会社3社がそれぞれ保有する3つ（馬天、親慶原、百名）のバスターミナルから各まちの拠点を経由して那覇方面にアクセス
- バス路線を束ねる交通拠点はなく、まちの拠点間の結びつきは弱い。



再編後

- 南部東道路IC周辺の新しい拠点である中核地を核に、公共交通網を形成。
- 中核地と那覇市等の市外を幹線バスで結ぶ。
- 市内でも一定の需要が見込める中核地～まちの拠点間等は支線バス（市内線バス）を運行。
- 支線バスでの対応が難しいエリアの移動は「おでかけなんじい」が担う。



2. 南城市の公共交通



Nバス運賃体系

通常料金

区分	料金
大人	300円
中高校生	300円
小学生	150円
未就学児	無料

Nバス1日乗車券料金

区分	料金
大人	700円
中高校生	500円
小学生	300円

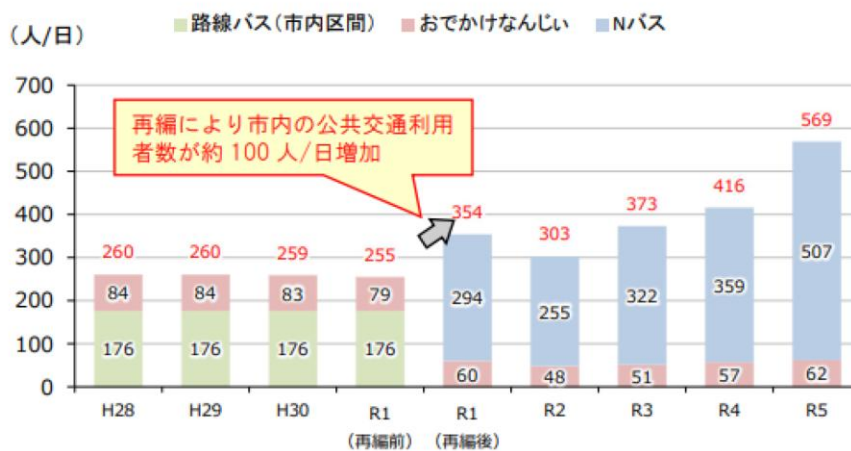


市民料金（※回数券・NバスOKICA利用時のみ）

区分	料金
大人	160円
中高校生	80円
小学生	80円
未就学児	無料

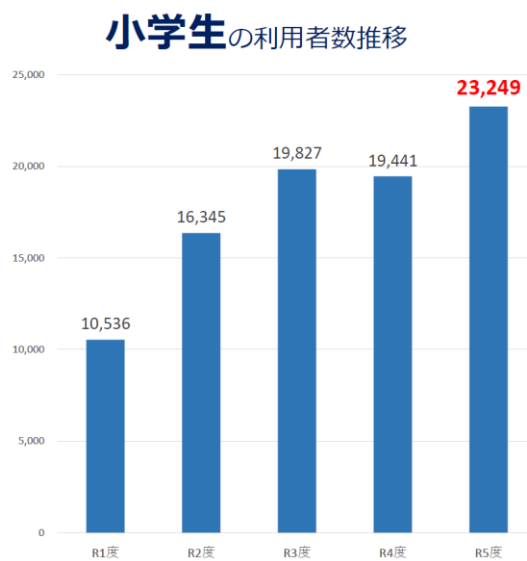
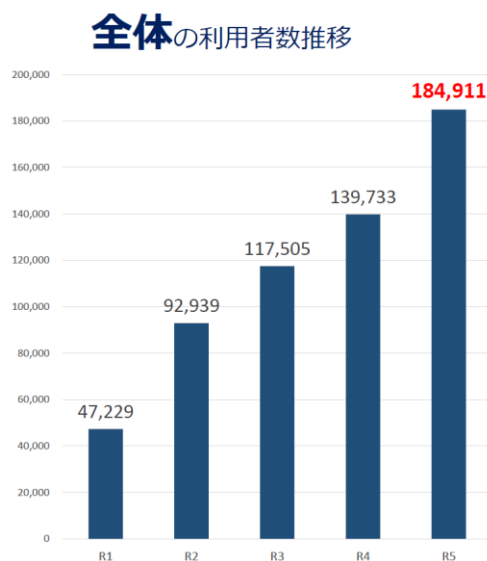


3. Nバスの利用状況



※路線バスの利用者数は、H25 沖縄県調査より、市内区間のみの利用者数を整理
 ※R1(再編後)以降のデータには、路線バス利用者数は含まれていない。

3. Nバスの利用状況



4. モビリティ・マネジメント教育



モビリティ・マネジメント教育とは・・・

私たち一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を「**人や社会、環境にやさしい**」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育てる（力を育む）ことを目指した教育活動を指します。

令和6年度小中高等学校におけるモビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）の普及に向けての支援事業募集要項より

4. モビリティ・マネジメント教育



モビリティマネジメント教育を通して、
公共交通の理解を深めてもらうため、
南城市交通政策課は、6年2組さんの
乗ってみたい！知りたいたい！作りたい！
を応援します！！

移動を楽しみ、
みんなで**乗り育てる**Nバスへ

おまけ



路線バス・Nバス無料で乗れます！！
9月
18日(水), 22日(日), 25日(水), 29日(日)

沖縄県 南城市

**今日バスで
行かない？**

わった〜バス感謝祭
乗りほ〜DAY

9月の**水日**路線バス**無料**

2024年9月4日**水**スタート

※当日は現金投入やICカードのタッチは不要です。※当日は混雑が予想されます。時間に余裕を持ってご利用ください。※対象外のバス・路線があります。詳しくは公式HPをご覧ください。

公式WEB /

1-2 有識者による授業(谷田貝氏)

沖縄県内の路線バスの実態に精通している「バスマップ沖縄」主宰の谷田貝氏より、質問への回答という形式で、バス車両の大きさの違いや、利用目的の違いなどについて紹介していただき、その後、Nバスとそれ以外のバスの違いについて考えてもらう授業が行われた。児童からは、特に、色々な種類のバスがあることについての関心が高かった。



図 3-1.谷田貝氏による授業の状況

■授業に使用したスライド

バスについて いろいろ調べてみよう

2024年12月13日 南城市立佐敷小学校 6年生

バスマップ沖縄 谷田貝 哲



授業の流れ

- ① 自己紹介をします。
- ② Nバスに乗って感じた皆さんの疑問に答えます。
- ③ Nバスのバスマップと、沖縄県全体のバスマップを見比べて、
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが似ている点
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが異なっている点…を班ごとに考えて、発表します。

授業の流れ

- ① 自己紹介をします。
- ② Nバスに乗って感じた皆さんの疑問に答えます。
- ③ Nバスのバスマップと、沖縄県全体のバスマップを見比べて、
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが似ている点
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが異なっている点
 …を班ごとに考えて、発表します。

自己紹介

「バスマップ沖縄」とは？



本当は便利なのに「わかりにくい」「不便」とされる沖縄の路線バスをみんなに活用してほしい！



沖縄県内の公共交通の利用情報案内ツール **バスマップ沖縄** を作成



2008年より17回、計8.8万部発行

自己紹介

バスの利用をおすすめする本を出版しました



県内の書店員さんが、「今、一番読んでほしい本」として、

沖縄書店大賞の
大賞を受賞！（2023年）

授業の流れ

- ① 自己紹介をします。
- ② Nバスに乗って感じた皆さんの疑問に答えます。
- ③ Nバスのバスマップと、沖縄県全体のバスマップを見比べて、
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが似ている点
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが異なっている点
 …を班ごとに考えて、発表します。

疑問への回答

安座真港のバス停はどうしてそこにある？



疑問への回答



疑問への回答



疑問への回答

安座真港のバス停は何のためにある？

疑問への回答



<https://kudakakaiun.jimdofree.com/>





疑問への回答

お客さんが便利のように
道の外に作られるバス停は
他にもたくさんあります

疑問への回答

バスの**大きさ**が違うのはなぜ？
なぜバスの種類によって**つくり**が違うの？



疑問への回答

Nバスは **小さめ**



…そんなにたくさんお客さんがいるわけではない

疑問への回答

もっと小さいバスもある



…北中城村「グスクめぐりん」

疑問への回答

もっともっと小さいバスもある（県外）



…見た目はタクシー

<https://tahikomisen.com/5469/>

疑問への回答

大きいバスもある



…70人以上乗れる

疑問への回答

もっと大きいバスもある（県外）



…110人以上乗れる

疑問への回答

車内はこんな感じ



…全長約18メートル

疑問への回答

大きさの違いだけでなく
車内の作りも、使われる
目的によってさまざま

疑問への回答

Nバスはこんな感じだった



…定員約30名

疑問への回答

一般的な市外線に使われる車両



…定員50～70名程度

疑問への回答

このバスはなんで座席が**少ない**のかな？



疑問への回答

長距離を走るバスと



…定員約50名

疑問への回答

その車内



…ゆったりした座席がたくさん

疑問への回答

もっと遠い距離を走るバス



…超ゆったり！

<https://www.tokyubus.co.jp/airport/bus-service/05.html>

疑問への回答

何なら個室も！



…超超ゆったり！

<https://www.kanto-bus.co.jp/nightway/dream-sleeper/images/bgConcept.jpg>

授業の流れ

- ① 自己紹介をします。
- ② Nバスに乗って感じた皆さんの疑問に答えます。
- ③ Nバスのバスマップと、沖縄県全体のバスマップを見比べて、
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが似ている点
 - ・ Nバスとそれ以外のバスが異なっている点…を班ごとに考えて、発表します。

おまけ：佐敷小学区を走る市内線



おまけ：佐敷小学区を走る市外線

番号	起点	終点	バス会社	頻度
36	南城市役所	糸満バスターミナル	沖縄バス	極少
37	〃	那覇バスターミナル	東陽バス	少なめ
38	志喜屋	〃	〃	極少
39	南城市役所	〃	沖縄バス	少なめ
191	馬天営業所	屋富祖	東陽バス	〃
338	斎場御嶽入口	那覇バスターミナル	東陽バス	極少
339	南城市役所	結の街	沖縄バス	少なめ
391	馬天営業所	サンエーパルコシティ	東陽バス	〃

おまけ：佐敷小学区を走る市外線



36番
南城市役所～
糸満バスターミナル

南城市と糸満市を
つなぐ、
唯一の路線

本数はとても少ない

おまけ：佐敷小学区を走る市外線



37番・39番
南城市役所～
那覇バスターミナル

南城市と那覇市をつなぐ
メインルート

339番
南城市からパルコまで、
乗り換えなしで行けるバス

おまけ：佐敷小学区を走る市外線



38番
志喜屋～
那覇バスターミナル

338番
斎場御嶽入口～
那覇バスターミナル

知念エリアを走る
たった2つの市外線

本数は極めて少ない

おまけ：佐敷小学区を走る市外線



191番
馬天営業所～屋富祖

391番
馬天営業所～サンエーパルコシティ

南城市と首里や浦添市をつなぐバス

沖縄で一番古いバスの車両が走る路線



<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1466748.html>

1-3 有識者による授業(寺本氏)

交通エコロジー・モビリティ財団のモビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)普及検討委員会の委員でもある名桜大学特任教授の寺本氏より、南城市の地域資源である N バスについて、児童やその家族の利用促進に向けて、多角的な視点から気づきを生みだすことを目的に事業が実施された。6 年 1 組では「使ってよし・乗ってよしの N バスの魅力アップ」をテーマに、南城市外や県外の方に N バスを知ってもらうアイデアを出し合う授業が行われた。6 年 2 組では、南城市の公共交通についての講話や、N バスを使って市内の観光地へ行った校外学習などの経験をもとに、N バスの魅力を伝えるために絵本やカルタなどの作品がつくられた。なお、授業の実施状況については、地元紙の沖縄タイムス 2025 年 1 月 30 日付に掲載された。



図 3-2.寺本氏による授業の状況

■寺本氏作成の指導案

特別授業 モビリティ・マネジメント出前授業・指導案

2025年1月10日、南城市佐敷小6年1組 授業者 寺本 潔

1 趣旨 沖縄本島に住む人々の暮らしに自家用車利用が占める比重は大きい。ゆいレール以外に鉄軌道が無いのも一因であるが、公共バスにおいては県民の3%しか利用していない実態もある。また、沖縄を訪れる年間1000万人の観光客も団体旅行を除けばレンタカー移動が常態化し、その分タクシー業や路線バス利用を圧迫している。渋滞の激化や車走行による自然への負荷、駐車場不足等、課題は山積している。一方、交通弱者にとって「移動手段がなく、家族や知人の送迎を頼むしかない(67%)」との南城市の調査結果も出ている。これからの「スマートに人々が移動できる暮らしの実現」に向けて、車ばかりに依存する暮らしから、公共バス（オンデマンド交通も含む）や自転車、将来那覇地区に設置が期待されるライトレール等、多様な移動手段を選択・活用する暮らしへの転換が必須の時代となっている。このため、本授業では、よりエコロジカルな乗り物である公共バス（Nバス）の利用を児童やその家族に促すことを目途に、多角的な視点から気づきを生み出すことをねらいとしたい。現在、Nバス運行は、平日70便、休日55便にのぼり、南城市民の足として利活用が順調に進展しつつある。この背景には、美しいラッピングを施したNバス8台の購入に2億数千万円をかけ、新市役所内に待合室を設け、現在は在籍していないがバス利用を促すコンシェルジュも常駐するなど、先進的な取り組みが成果をあげている点も挙げられよう。いわばスタートアップに成功したと言える。現在は、月平均1万8千人前後が利用し、順調に市民の足となりつつある。この傾向をさらに伸ばし、名実ともに市民の日常の移動手段として定着させるためには、学校教育も関与しつつ、市民の公共交通への意識をさらに醸成することが求められよう。モビリティ・マネジメント教育は、その中核となる公教育と言える。

2 本時の目標

多様な属性を持った利用者の乗り物として公共バスの役割を認識し、より魅力を感じてもらうにはどのような手立てが必要か、アイデアを出し合い、自分たち小学生でもできる利活用促進の提案を仲間との学びあいによって立案することができる。

3 指導案

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 「使ってよし・乗ってよしのバス利用を考えよう」という授業の目当てについて意見を述べ合う。	・目的地にいく移動手段としての「使ってよし」とNバスそのものの魅力を見出す 「乗ってよし」の意味を類推するよう促す。
展開 2分	2 熟年・ハネムーン・ビジネスマン・学生・ファミリーの絵カードを班で認識し、Nバス利用者としてもっと増やす対象を2つ選び、その利用促進策を考え合う。	・絵カードに描かれた利用者の特性を予想しあうよう促す(例：熟年夫婦は足腰が弱いので前の座席を勧める。孫の世代が好きなので私たちの声を届けたい。)
5分	3 選んだ利用者がもっとNバスを利用しやすいようにするための方策を出	・費用のかかる自家用車を購入してしまうことで移動手段として車ばかりを使っ

まとめる 15分	し合う。 4 市民利用だけでなく観光客を南城市に呼び込むため、N バスそのものを観光資源化し利用を促進する方策を考える（各バスに愛称をつける・バス車内に児童による公告掲示・那覇バスターミナルからの乗り換え案内・東御廻りの聖地巡りとの連携等）。	てしまうことの弊害にも気づかせる。 ・寺本自身が前回、夫婦で知念岬と斉場御嶽観光を楽しんだ際、N バスを利用した経験を紹介する。今後、レンタカー利用でなく公共バスの利用が観光客で確実に増えてくる傾向にあることを告げる。
-------------	--	--

（参考）＊授業者である寺本が思いつくまま整理してみました。

メリット・デメリット 自家用車と公共バス(Nバス)の10の利用比較

比較の視点	自家用車利用	公共（路線）バス利用
費用	自家用車の購入や維持費・車検に多額の費用がかかる。	1 回当たりの費用（料金）がかなり少なくて済む。定期券もある。
飲酒	飲酒運転になるため絶対に飲めない。	運転者でないので飲酒後も乗車できる。
渋滞	多数の車両が道路を使用し渋滞が発生しやすい。	大人数の移動に便利のため、走る車を減らせ渋滞も少なくなる。
駐車場	車両の台数分必要になる。	バスがとまるスペースだけで可。
排気ガス CO2	電気自動車を除き、車両の台数分排気ガス・CO2 が出される。	燃料電池バス以外は排気ガス・CO2 を少しは出す。
座席シート からの視野	座席が低いため、沿線に塀や並木などがあると景色を見ることができない。	座席が高いため、塀や並木越しでも沿線の景色を車窓から眺めることができる。
交通事故	交通事故を起こす確率がバスより高い。	交通事故を起こす確率は自家用車より格段に低い。
利便性	好きな時間に自分の興味ある場所へ移動できる。	運行時間に限られバス路線沿いにしか移動できない。
会話	車内で同乗者とは会話できる。好きな音楽を楽しめる。	乗り合わせた客同士(市民や観光客)で挨拶や会話を楽しめる。
快適さ	雨や陽射しが強い日でもエアコンの効いた車内で快適に過ごせる。	バス待ちの時間、雨や陽射しが強い場合、バス停でつらい場合がある。

【授業者プロフィール】

寺本潔（てらもと きよし） 1956 年熊本県生まれ。筑波大学大学院修了。筑波大学附属小学校教諭、愛知教育大学・玉川大学教授を経て本年より名桜大学国際学部特任教授。佐敷小学校校長である慶田盛氏とは琉球大学教育学部附属小学校社会科公開研究会の折、お世話になった。学習指導要領作成協力者や中央教育審議会専門委員等も歴任。現在、交通エコロジー・モビリティ財団による教育支援委員会のメンバー。

1-4 乗車体験

総合学習の時間を使って、児童が検討した乗車体験の企画にもとづき、①Nバスを通して南城市の魅力を発見する、②観光客の目線でNバスを利用して良さを見つけるの2つの目的のもと、おきなわワールドまでの体験乗車が実施された。

Schedule	
 ナップザック登校 7時40分に児童玄関集合 07:54 出発 08:15 南城市役所着 08:37 南城市役所を出る(Nバス出発) 09:03 玉泉洞前着 見学 12:49 出発 13:20 南城市役所着 14:15 南城市役所を出る※Nバス出発 14:30 佐敷小学校前着 	見学のしおり  佐敷小学校 6の2 
Memo	
	名前

日程 12月4日(水) 集合 佐敷小学校 7時40分 児童玄関前 ※雨天決行(荒天時の場合は、通常通り授業) 行き先 おきなわワールド 住所: 901-0616 沖縄県南城市玉城 字前川1336番地  目的 ✓ Nバスを通して南城市の魅力を発見する ✓ 観光客の目線でNバスを利用して良さを見つける ✓	服装 動きやすい服 はきなれた靴 ナップザック 持ち物 ・水筒 ・帽子 ・筆記用具 ・弁当 ・総合ノート ・雨かっぱ ・敷物 ・タオル ・ごみ袋 ・お菓子 その他 ・万が一中止の場合は、通常授業を行います。 ・当日欠席の場合は学校に連絡してください。 注意事項 ・バスの中では大声を出さない、窓から顔や手を出さないこと ・気分が悪くなったら、無理をせずに先生に知らせること ・園内にいる一般の方へ迷惑をかけないこと ・集合の合図があったら速やかに集まること ・先生の指示に従わなかったり、勝手な行動を取った場合は保護者に連絡の上、帰宅となる場合があります。
---	---

図 3-3.児童が作成した乗車体験のしおり



図 3-4.乗車体験の状況

1-5 総合学習での授業

総合学習の時間を使って、児童に自動車と公共交通のメリット・デメリットを考えてもらい、グループで話し合った結果を整理してもらった。また、交通環境学習で学んだこと、取り組んだことを成果として発表も実施した。

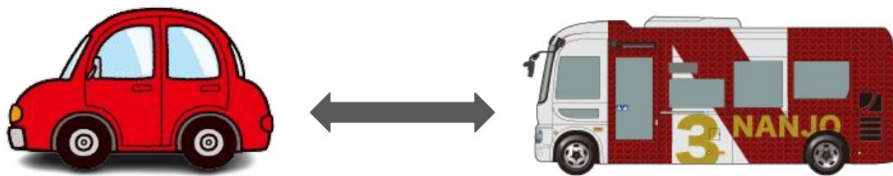


図 3-5.総合学習での検討材料

以下に児童がとりまとめた、総合学習事業での公共交通と自家用車のメリット・デメリットのとりまとめ結果を添付している。



南城市内の移動手段は
Nバスが良いか、自家用車が良いか。



～Nバスのよいところ～

1. どんな人でも使える
2. 環境にやさしい
3. 家計にやさしい
4. 事故を起こす確率が車より低い



～どんな人でも使える～

バスには、

車内放送

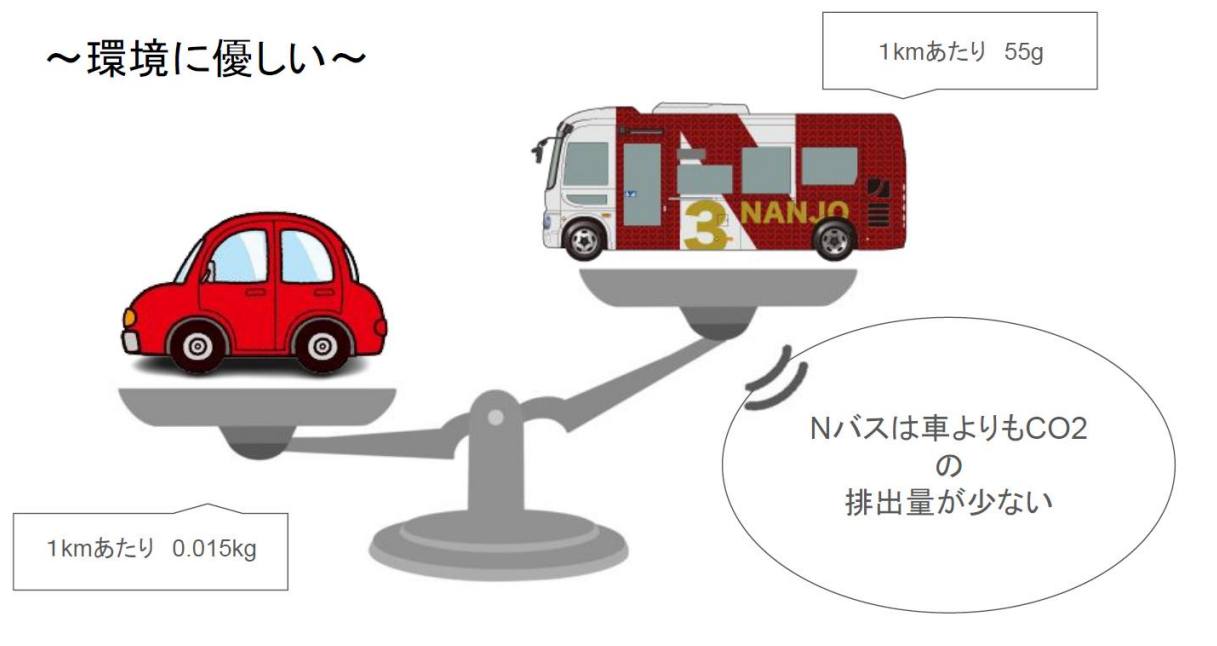
優先席

点字ブロック



体が不自由な人も乗れる！

～環境に優しい～



～家計にやさしい～

—通常運賃—

大人	300円
中高校生	300円
小学生	150円
未就学児	無料

—市民運賃—

大人	160円
中高校生	80円
小学生	80円
未就学児	無料



～事故を起こす確率が車よりも低い～

自動車は事故を起こす確率が1年間で0.58%



なんと
58倍！

バスは事故を起こす確率が1年間で0.01%

バスの方が安全！



～まとめ～

〈どんな人でも使える〉

↳ 車内放送、優先席、点字ブロックがあって体が不自由な人も乗れる

〈環境にやさしい〉

↳ バスは車よりもCO2の排出量が少ない

〈家計にやさしい〉

↳ 市民は、高校生まで80円でのれる

〈事故を起こす確率が車よりも低い〉

↳ バス0.01 —58倍→ 車0.58

1-6 学習発表会での発表

学習発表会では「南城市の魅力発見！～Nバスとつながるまちのよさをひろげようプロジェクト～」をテーマに発表を行った。世界文化遺産の斎場御嶽など N バスで巡った市内の名所の魅力を伝えるプレゼンテーションを実施し、作成した絵本やカルタ、トランプ、すごろく、缶バッジ、ぬいぐるみ、LINE スタンプなど、グループごとのツールを紹介した。最後は全員で N バスの良さを伝えるアニメソングの替え歌を披露した。



図 3-6.学習成果の発表状況

1-7 ツールの作成

今年度の学びの成果を活かし、N バスの利用促進のためのツールとして、缶バッジや絵本、トランプ、かるた、ぬいぐるみ、替え歌等が作成された。



図 3-7.缶バッジ

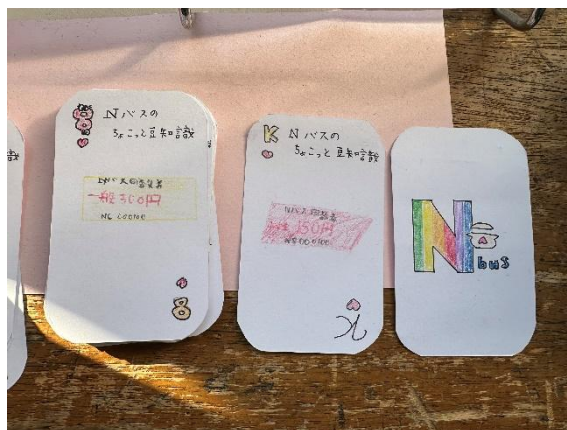


図 3-8.トランプ

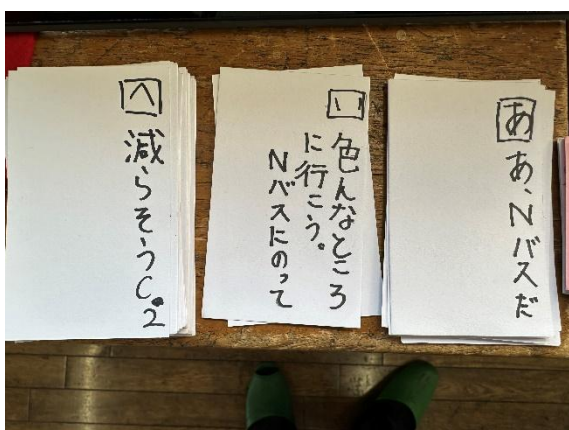


図 3-9.かるた



図 3-10.ぬいぐるみ

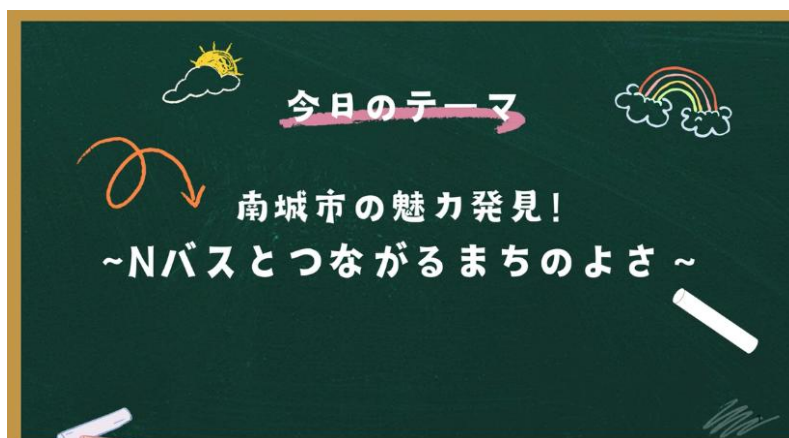


図 3-11.動画

児童が作成した絵本の素案



テーマ

南城市の魅力を発見!!

～Nバスとつながるまちのよさを広げようプロジェクト～

私たち絵本を作りました!!

私たち 佐敷小学校 6年2組はNバスと
つながるまちのよさを広げようプロジェクトで総
合的な学習の時間ではじめました。
私たちはそのプロジェクトの中でNバスで学ぶ社
会の常識を低学年に分かりやすく知ってもらうた
めに、絵本で伝えようと思いました。本の中では
私たち6年2組がNバスに乗るときに失敗した
ことなども考えました。絵本を作るのははじめて
なので大変なこともありましたが一生けん命頑張
りました。読んで楽しんでもらえたらうれしいです!!

Chichiko
Futaba
hirata



2人がおしゃべりしながら、
バス停までゆっくり歩いていると
横からNバスが通り過ぎて
いきました。

「えっ、ぼくたちが乗るバス
あれじゃない!？」

「やばい! 走れ!!」



2人は急いで走りましたが
追いつけませんでした。

乗りおくれてしまったのです。

仕方なく次に来るバスを待つことに
しました。

「次からは、時間をちゃんとかくにんしようよ」

「そうだね!」



そうしているうちにNバスがきました。

2人はドキドキしながら乗ります。

中には、たくさんの人が乗っていました。

「ここ、席が空いてるよ、座ろう」

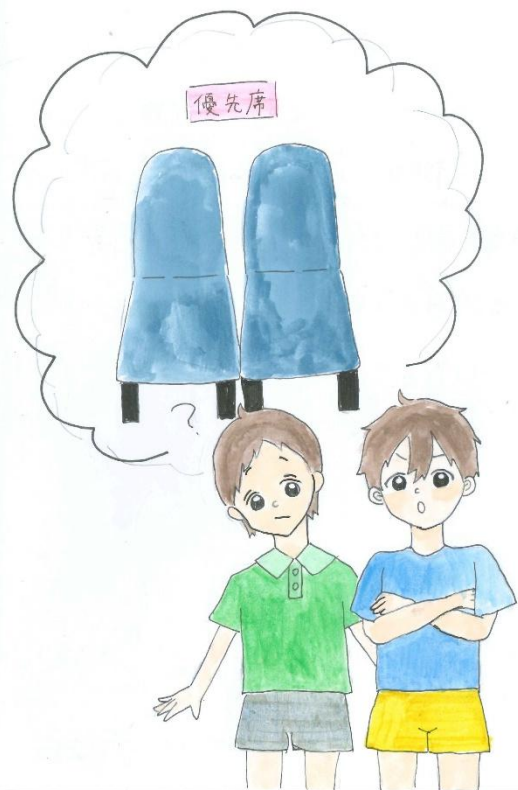
「いいね！」



たけるとりょうは何も知らずに
優先席にすわってしまいました。

「あれ？この席だけ色がちがくない？」

「ゆ、う、せ、ん、せ、き？ってなんだ？」



近くにいたおばさんが教えてくれました。

「ここは、ゆうせんせきっていいね、

体が不自由な人や、お年よりなどのための

席なんだよ。だから、その人たちが乗って

きたら、席をゆずってあげるといいわ」

「はい!!」

ゆう—せん—せき
優先席
体が不自由な人や
お年よりなどのための
席である



しばらくしておばあさんが乗って来ました。

「あ! おばあさんに席をゆずってあげよう!」

「うん!」



「おばあさん、この席どうぞ」2人は言いました。

「ありがとうねえ」

2人の心はあたたまりました。

「ねえ、あのおばあさん豆頁に葉っぱのってない?」

「ほんとだ!! 取ってあげようよ」

「うん、そうしよう」



そうして2人はおばあさんの豆頁にのって
葉っぱを取ってあげることにしました。

「じゃあいくよ、せーの!!」

パサッ もくもく

「ええ〜!!?」

なんとあのおばあさんはたぬきだったのです。



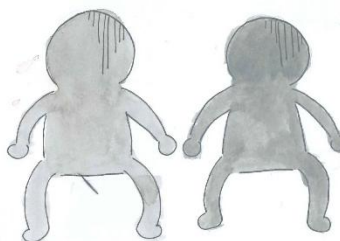
「やっべえ!! 気づかれちゃあしょうがない」

「さらばだっ!!」

たぬきはにげていきました。

2人はあまりの出来事に言葉を失いました。

「なんだったんだ....」



しばらくして2人はバスの中にボタンを
見つけました。

「なにこのボタン」「おしてみようぜ」

♪\ピンポン/♪ 次～止まります

「うわぁ」「もぉ～、何してるんだよ～」

～ざわざわ～

「きみたち..」



「ここはみんながのる場所だから
うるさくしたらだめだよ。あと、まわりの人
のめいわくになっちゃうからね」
「ごめんなさい」 2人は言いました。
「いいのよ、次から気をつけてね」



そうしているうちに、公園につきました。
2人はお金をはらってNバスから降りました。
「公園についたぞー!!」
「やったー!ようやく着いた〜」



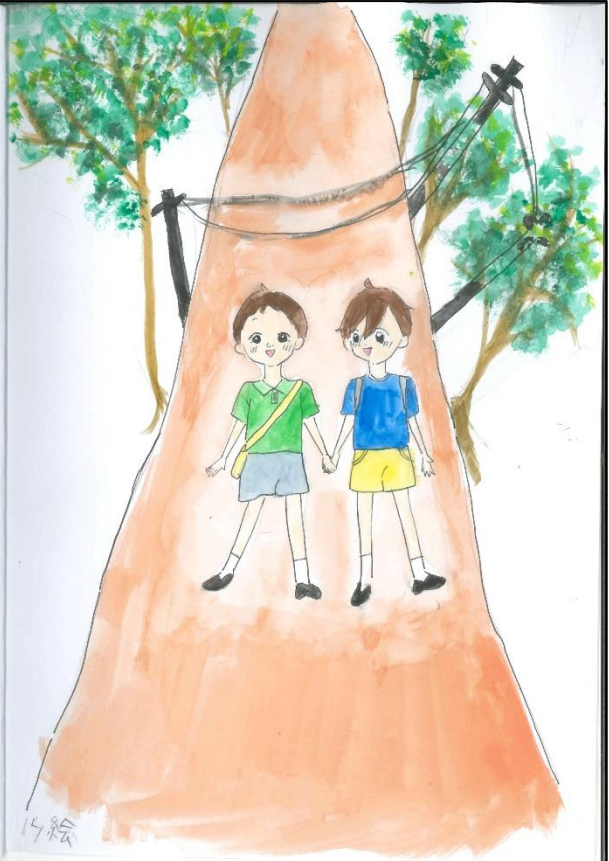
たけるとりょうは思うぞんぶん、あそびました。

「今日はいろんなことがあったね」

「帰りのバスは学んだことをいかしてのろうね」

「うん」

そうして2人は帰っていきました。



見てくださり、
ありがとうございました。



1-8 .N バス車内の飾りつけ

地域のバスへの愛着醸成、利用促進に向け、児童によりNバス車内をクリスマス仕様にする飾りつけを行った。参加した児童からは「N バスでクリスマス気分を味わえます。帰りのバスに乗るのが楽しみ」といった感想が寄せられた。



図 3-11.N バス車内のクリスマスの飾りつけ

2. 市内小学校(知念小学校)での施行

2-1 市交通政策課による授業

佐敷小学校同様に、知念小学校においても、市交通政策課による授業が実施された。

【授業での説明内容】

- 南城市の公共交通
- 南城市の公共交通再編までの取組み
- Nバスの利用状況
- モビリティ・マネジメント教育
- Nバスマップの見方



図 3-12.市交通政策課による授業の状況

2-2 乗車体験

N バスマップを活用し、児童自身で目的地までどのバスで何時に行くかを調べ、計画を立ててN バスに乗車した。乗車中は、優先席があることや、N バスの現在地がわかるバスロケーションシステムがあることで、利便性向上につながっていることなど身をもって経験することができた。



図 3-13.乗車体験の状況

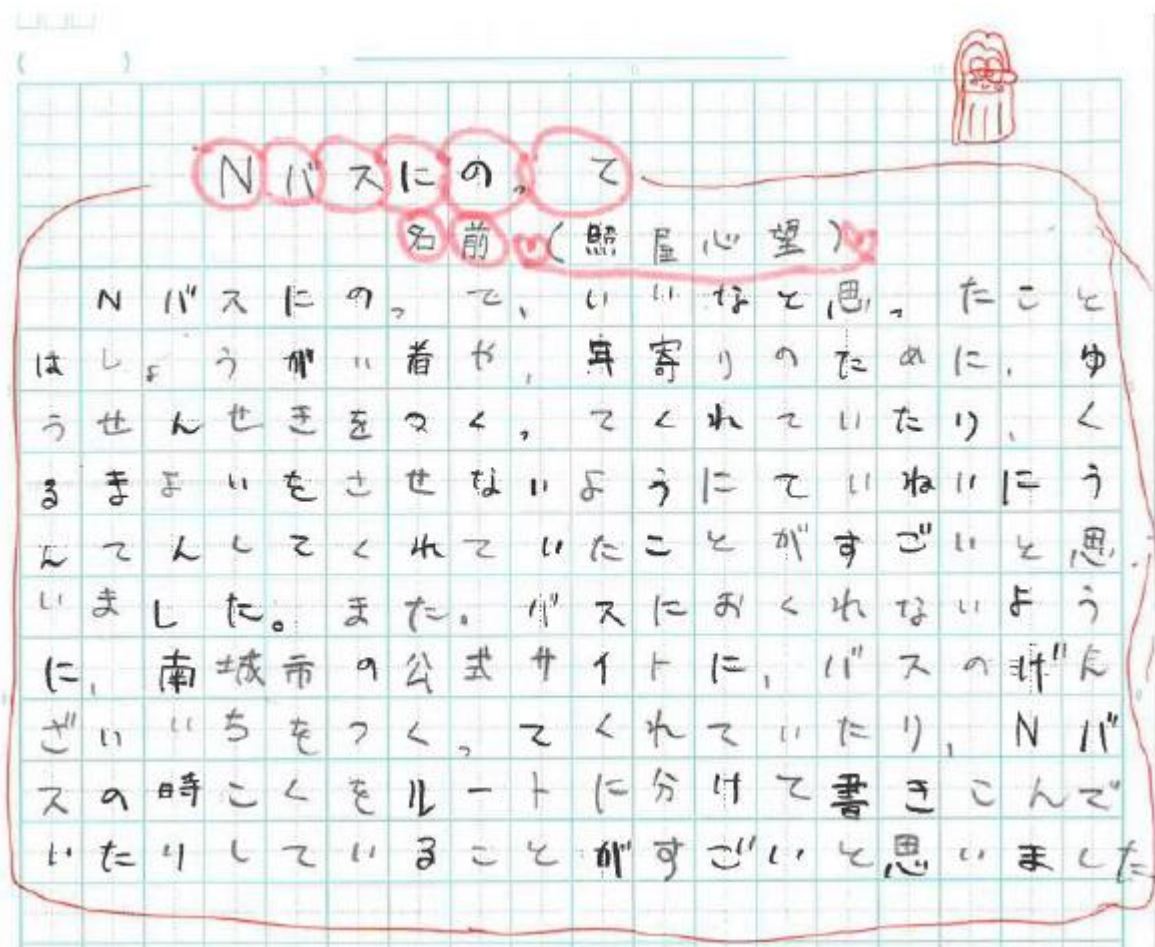


図 3-14.乗車体験後の感想

2-3 .N バス車内の飾りつけ

佐敷小学校で、N バス車内のクリスマス仕様の飾りつけが好評だったため、横展開として、知念小学校においても地域バスへの愛着醸成、利用促進を目的に、N バス車内をバレンタイン仕様に飾りつけを行った。参加した児童からは、「乗った人がすごいと思ってくれるように飾った」、「細かい飾りを天井に付けることが大変だったけど、うまく飾れた。このバスに乗ることが楽しみ」といった感想が寄せられた。なお、授業の実施状況については、地元紙の沖縄タイムス 2025 年 2 月 13 日付に掲載され、児童の自己肯定感が高まる取組にもつながることができた。



図 3-15.N バス車内のバレンタインデーの飾りつけ

3.市 HP での広報

本事業の主な取組については、市 HP にて広報活動を行った。

3-1. 佐敷小学校の N バスのクリスマス飾りつけ

佐敷小6年生がNバスにクリスマスの 装飾（2024/12/10）

最終更新日：2024年12月11日

佐敷小学校（慶田盛元校長）の6年生が、Nバスにクリスマスのデコレーションを施しました。移動手段や社会全体の交通を「人や社会、環境にやさしい」観点で見直し、改善行動を促す人材育成を目指すモビリティ・マネジメント教育の一環として、今回初めて実施されました。



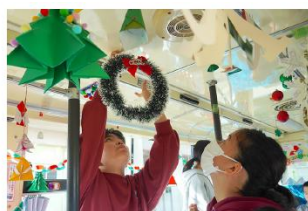
楽しみながら飾り付け



真剣な眼差しで作業



オーナメントを飾る



天井からリースを吊り下げる

参加した6年生は、手作りの飾り等を工夫しながら車内に貼り付けて、Nバスをクリスマス色に彩りました。一緒に飾り付けをした大浜由万莉さん平田梨莉さんは「Nバスでクリスマス気分を味わえます。帰りのバスに乗るのが楽しみ」と声を弾ませました。



窓枠にも飾り付け



クリスマス色に彩られた車内

佐敷小の児童によるクリスマスの装飾を施したNバスは、12月10日から25日に運行されます。

3-2 佐敷小学校でのモビリティマネジメント授業

佐敷小でモビリティ・マネジメント授業。Nバスの魅力を探る (2025/01/10)

最終更新日:2025年01月13日

今年度、佐敷小学校(慶田盛元校長)では持続可能な社会のための交通環境学習「モビリティ・マネジメント教育」に取り組んでいます。その一環として、名桜大学の寺本潔特任教授を招いた「モビリティ・マネジメント授業」が、6年生を対象に行われました。

これまで、同校の6年生は総合学習の時間を利用して、市内を走る「Nバス」について学んできました。今回の授業では、1組と2組でそれぞれ違う形式でNバスを通じたモビリティ・マネジメントを学びました。

1組：「使ってよし・乗ってよしのNバスの魅力アップ」

1組では「使ってよし・乗ってよしのNバスの魅力アップ」をテーマに、南城市外や県外の方にNバスを知ってもらうアイデアを出し合う授業が行われました。

近年、県内でバスを使って移動する観光客が増えていることを児童に伝えた寺本教授は、「観光客も利用することでNバスをもっと知ってもらえる」と、「熟年夫婦」、「ファミリー」、「ハネムナー（新婚）」、「女子大学生」から2つを児童に選んでもらい、ターゲットを絞ってアイデアを募りました。



モビリティ・マネジメント授業の様子



グループでアイデアを出し合う

児童からは「無料Wi-Fiを設置する」、「写真に映えるように3人用の席を作る」、「お菓子を置く」など、子どもの視点から様々な意見が飛び出しました。

ひとつひとつのアイデアに耳を傾けた寺本教授は、「子どもがNバスの『推し』になれば、親も推しになる可能性がある。Nバス大好きな市民が増えれば、全国から注目される」と、Nバスを好きになり、その魅力を見つけて発信することの重要性を語りました。

最後に「利用者が増えればバスの本数やバス停も増やすこともできる」と呼びかけ、授業を締めくくりました。

2組：Nバスをテーマにした作品作り

2組では、南城市の公共交通についての講話や、Nバスを使って市内の観光地へ行った校外学習などの経験をもとに、Nバスの魅力を伝えるために絵本やカルタなどの作品を作っています。

低学年向けの絵本を作っているグループでは、「降車ボタンを間違えて押した」や、「乗り過ごした」などの失敗談を敢えて加えることで、正しいバスの乗り方を伝える工夫をしています。寺本教授は「クスッと笑えるエピソードを入れてみては」と、アドバイスを送りました。



寺本教授のアドバイスを真剣に聞く児童



Nバス豆知識が載ったトランプ

そのほか、NバスのLINEスタンプの作成、アニメソングをNバスの良さを伝える替え歌にしたり、Nバスの豆知識が載っているトランプを作るなど、グループごとに創意工夫が見られました。

児童の声

バスより自家用車派という山入端伶朗さんは、校外学習でNバスに初めて乗ったことで「車より景色が良く見えた。座席も座りやすかった」と、Nバスの心地よさに気づきました。

バス派の喜久川実知花さんは、これまでの学習を通して「車で行くよりバスで行く方が安いことや、二酸化炭素の排出も少なくなることがわかった」と、Nバスの新たな魅力を発見した様子でした。

※今年度のモビリティ・マネジメント授業は、交通エコロジー・モビリティ財団の補助を受けて実施しています。

3-3 佐敷小学校成果発表

佐敷小6年生がNバスについて学んだ
成果を発表（2025/01/26）

最終更新日：2025年01月30日

今年度、佐敷小学校（慶田盛元校長）の6年生は、持続可能な社会のための交通環境学習『モビリティ・マネジメント教育』の一環として、総合的な学習の時間を利用して、市内を走る「Nバス」について学んできました。「皆さんにNバスの魅力を知ってもらいたい一心でがんばってきました」と、この日に開かれた同校の学習発表会で、6年2組がこれまでの学びの成果を発表しました。



Nバスの替え歌を披露

発表では「南城市の魅力発見！～Nバスとつながるまちのよさをひろげようプロジェクト～」をテーマに、斎場御嶽などNバスで巡った市内の名所の魅力を伝えるプレゼンテーション、作成した絵本やカルタ、トランプ、すごろく、缶バッジ、ぬいぐるみ、LINEスタンプなど、グループごとの作品を紹介しました。最後は全員でNバスの良さを伝えるアニメソングの替え歌を披露し、発表を終えました。

3-4 知念小学校のNバスバレンタインデーの飾りつけ

知念小4年生がNバスにバレンタイン
デコレーション (2025/02/05)

最終更新日:2025年02月06日

知念小学校(前川真哉校長)の4年生が、Nバスにバレンタインの飾り付けを行いました。移動手段や社会全体の交通を「人や社会、環境にやさしい」観点で見直し、改善行動を促す人材育成を目指すモビリティ・マネジメント教育の一環として実施。Nバスのデコレーションは、昨年の佐敷小学校に続き2回目の実施です。



参加した児童は、手作りの飾りやモールなどを思い思いに飾り付けました。Nバスで下校することがあるという前城海力さんは「乗った人がすごいと思ってくれるように飾った」と笑顔を浮かべました。Nバスで通学しているという玉寄貴子さんは「細かい飾りを天井に付けることが大変だったけど、うまく飾れた。このバスに乗ることが楽しみ」と、満足そうに語りました。



手作りの飾りを窓に貼る



モールで可愛らしく装飾

知念小の児童によるバレンタインの装飾を施したNバスは、2月6日から28日に運行されます。

第4章 先進地域の視察

早くから小学校でモビリティ・マネジメント教育に取り組み、これまでにJCOMM(日本モビリティ・マネジメント会議)で4回もポスター賞等を受賞するなど先進的な取組を行っている北海道札幌市に先進事例視察を行った。

札幌市内全小学校への 拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組

背景 公共交通を賢く使うことが、札幌の豊かな自然環境を維持するためにとても大切な役割を果たす。

目的 初等教育から効果的に学ばせるために、教材・授業プログラム等を開発し、札幌市内の小学校で広く実践されることを目指す。

札幌市の取組ポイント

- MM教育を札幌市の小学校全体に拡大するには、出前講座形式では限界がある。
- 単元に沿った学習プログラムにすることで、効果はより確かなものになる。

教諭主体の授業実践!!

教科の中で容易に実践できる!!

プロジェクトの検討・推進体制

【平成23～25年度】
学習プログラム検討のため「札幌らしい交通環境学習検討委員会」・「教諭主体のワーキンググループ」を設置

検討委員会
学識経験者／委員長：高野 伸樹（北海道大学）・後援：山口 純子（札幌大学）
行政関係／北海道運輸局・北海道開発局・札幌市交通局・札幌市総合交通計画部（事務局）
関係団体／北海道民文化協会・（財）北海道環境財団
媒体関係／「地域と教育」を元にしたフォーラム・（株）アドバコム
学校関係／札幌市教育委員会・札幌市内小学校教諭（教員1名、教員1名）

教諭主体のワーキンググループ

- 教諭主体のワーキンググループを設置
- 学校教育における技術的・専門的事項を検討

⇒3年間で計13本の研究授業を実施

学習プログラムの開発

市内の小学校へ継続的に配布しています！

【3年生／社会科】
①学習資料
②教師向け指導書
③ワークシート
④シール

研究授業の実践

【実施日】令和5年2月10日（金）
【実施校】北海道教育大学附属札幌小学校
【実施学年】3年1組
【研究授業】社会科「市の様子と人々のくらしのつながり」
【授業者】碓速 剛志 教諭

ポイント 札幌市の市街化区域と交通網を増減させる活動を通して、未来の札幌がどのようなかという子ども一人一人の思いが反映される

考えるためのツール開発 行政との連携

一人一台端末を活用したWEBツール 考えたことを札幌市職員にインタビュー

市内の小学校へ展開予定！
教諭主体の授業を通して、更なる発展！

授業の振り返りで子どもが考えたことを発表！

方法

- 同じ研究授業を複数回実践し、精度を高める
- 学習指導要領に準じ、単元に沿った学習資料を作成
- 学習資料を活用した授業方法がわかる指導書を作成
- 学習資料と合わせて使用できる付属教材を作成（GIGAスクール構想に対応した教材作成）

【5年生／社会科】
①学習資料
②教師向け指導書

活動の展開

- 第5回シンポジウム
「教育と土木をつくる北海道の未来～高校性、動く、考える！～」
＜主催＞認定NPO法人はっかいどう学推進フォーラム
＜後援＞国土交通省北海道開発局、北海道、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、（公社）土木学会
【開催日】令和5年7月28日（金）
【場 所】札幌国際ビルディング8F 国際ホール
- 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」（R5年3月発行）
モビリティ・マネジメント教育によって育成される能力や、教科・領域との関連性、授業事例などを取りまとめている。

※本プロジェクトの授業内容が掲載されている

※市内のエコを財団が授業まで深く関わっています！

【発表者】・札幌市立手稲東小学校 校長 白崎 正
・札幌市立ノボロの丘小学校 主幹教諭 佐々木 英明
・北海道教育大学附属札幌小学校 教諭 碓速 剛志
・札幌市まちづくり政策局 総合交通計画部 後藤 詩緒里

「交通環境学習」指導書は、札幌市のホームページからダウンロードできます！

札幌市交通環境学習

【お問い合わせ】一般社団法人北海道環境技術センター 工藤 みゆき
e-mail: m-kudo@decnet.or.jp

図 4-1.令和 5 年度 JCOMM ポスター賞受賞の発表用ポスター

札幌市での先進地視察では、2 日目に札幌市立緑丘小学校研究授業見学、研究授業後の討議への参加、3 日目に札幌市との意見交換、北海道開発技術センターの新保氏との意見交換を行った。

表 4-1. 先進地視察の概要

日	時間	訪問先等
12/17(火)	9:00~12:00	札幌市内視察 ・路面電車乗車
	14:25~15:10	札幌市立緑丘小学校研究授業見学
	15:20~17:00	研究授業後の討議へ参加
12/18(水)	08:15~09:30	札幌市意見交換
	10:00~11:00	北海道開発技術センター 新保元康氏との意見交換



図 4-2. 研究授業の実施状況



図 4-3. 研究会後の討議の実施状況



図 4-4. 新保氏との意見交換の実施状況

第5章 委員会の運営

1. 第1回委員会

1-1 議事次第

令和6年度 第1回南城市MM教育推進委員会

日時：令和6年8月28日（水）10：00～

場所：南城市役所3階庁議防災室

次 第

1. 開会

2. 委員・事務局紹介

3. 南城市モビリティ・マネジメント教育推進委員会設置要綱

4. 委員長挨拶

5. 報告

（1）これまでの南城市公共交通の取組みについて・・・・・・資料①

6. 議事

（1）本事業の趣旨および方向性について・・・・・・資料②

7. その他

（1）意見交換

（2）次回開催について

配布資料一覧	資料①これまでの南城市公共交通の取組み 資料②本事業の趣旨および方向性
--------	--

1-2 会議資料

(1)これまでのNバスの取組について

資料①

第1回 南城市MM教育推進委員会資料

これまでのNバスの取組について

令和6年8月28日

南城市MM教育推進委員会

1 南城市における公共交通の再編の取組について

1.1 合併時における問題

- 各地域ごとに、那覇向けに交通網が形成されており、旧町村間の連絡が不便な状況でした。
- 路線バスの運行本数が多いのは、馬天営業所～与那原方面の限られた区間のみであり、その他の区間では路線バスの運行本数が少なく、利用しづらい状況となっていました。
- H24の市民アンケートでは「移動手段がなく、家族や知人の送迎が必要」といった問題や、「運行本数を増やしてほしい」といった要望があげられていました。

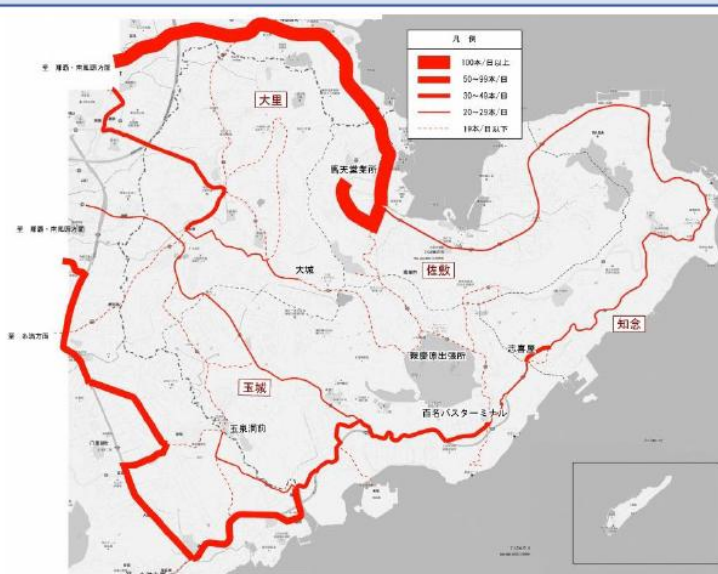


図-1.おでけなんじい導入前の路線バスの運行本数

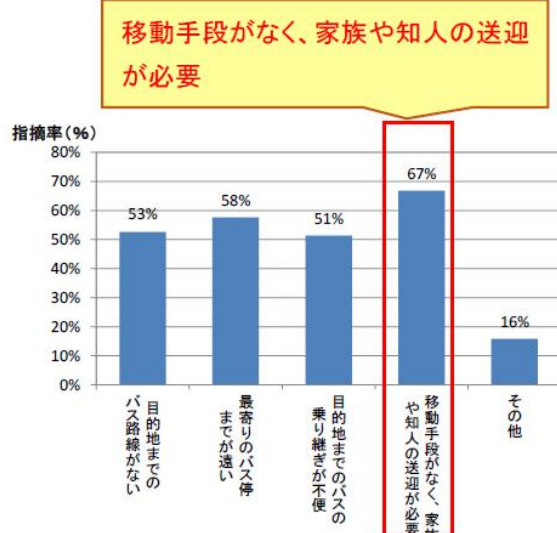


図-2.交通弱者が普段の移動で困っている点(複数回答)

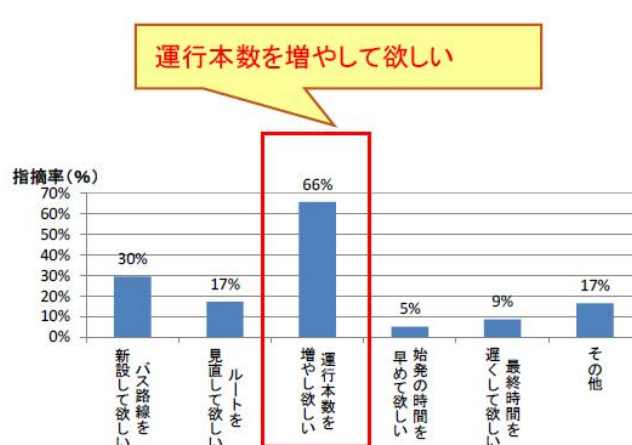


図-3.交通弱者の公共交通に対する要望(複数回答)

1.2 おでかけなんじいの導入と再編に向けた検討

- 那覇向けのルートが設定されている路線バスをカバーし、交通弱者の移動支援を目的に平成 25 年度から、デマンド交通「おでかけなんじい」を導入しました。
- その後、平成 28 年度に地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープラン「地域公共交通網形成計画」を策定、また、そのアクションプランである「再編実施計画」を令和 1 年度に策定しました。

H25 デマンド交通「おでかけなんじい」の実証実験(無償)



H26 デマンド交通「おでかけなんじい」の実証実験(有償)



H28 南城市地域公共交通網形成計画策定



R1 南城市地域公共交通再編実施計画策定



R1.10 公共交通再編実施

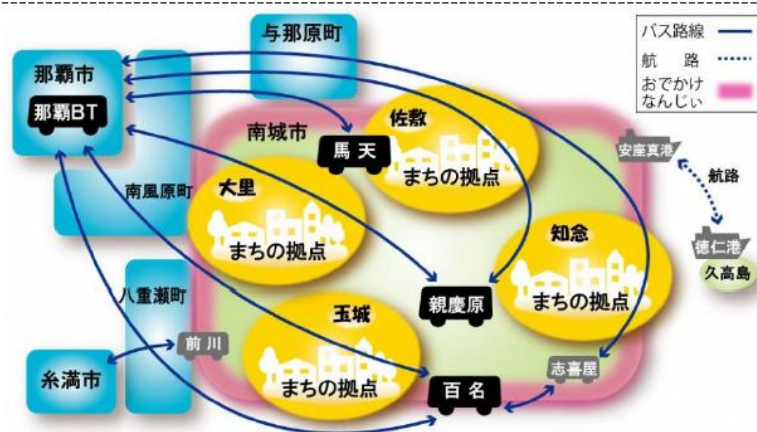
2 公共交通の再編とNバスの導入

2.1 将来ネットワークイメージ

- 公共交通の再編にあたり、中核地に整備するバスターミナルを中心とした将来の公共交通ネットワークイメージを検討しました。

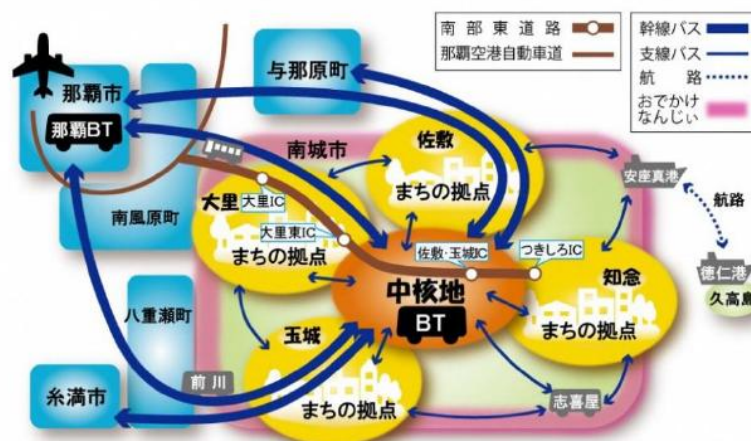
現状

- 3つのバスターミナルから各まちの拠点を經由して那覇方面にアクセス
- バス路線を束ねる交通拠点はなく、まちの拠点間の結びつきは弱い。



将来

- IC周辺の新しい拠点である中核地（市役所）を核に、公共交通網を形成。
- 中核地と那覇市等の市外を幹線バスで結ぶ。
- 市内でも一定の需要が見込める中核地～まちの拠点間等は支線バスを運行。
- 支線バスでの対応が難しいエリアの移動は「おでかけなんじい」が担う。



2.2 再編の考え方

- 網形成計画で示した将来ネットワークイメージの実現を図るため、地域公共交通再編実施計画を策定し、同計画においては、6つの具体的な考え方のもとに再編のための施策を検討しました。

網形成計画における再編の考え方

考え方①公共交通網のハブの整備

考え方②定時・速達性の高い幹線バスの導入

考え方③ハブとまちの拠点等を結ぶ支線バスの導入



再編の具体的な考え方

考え方①幹線バス・支線バス・デマンドバスの役割分担の明確化

考え方②幹線バスと支線バスの連携

考え方③交通弱者の移動需要への対応

考え方④周遊利便性の向上

考え方⑤運行効率化

考え方⑥利用しやすい料金体系の導入

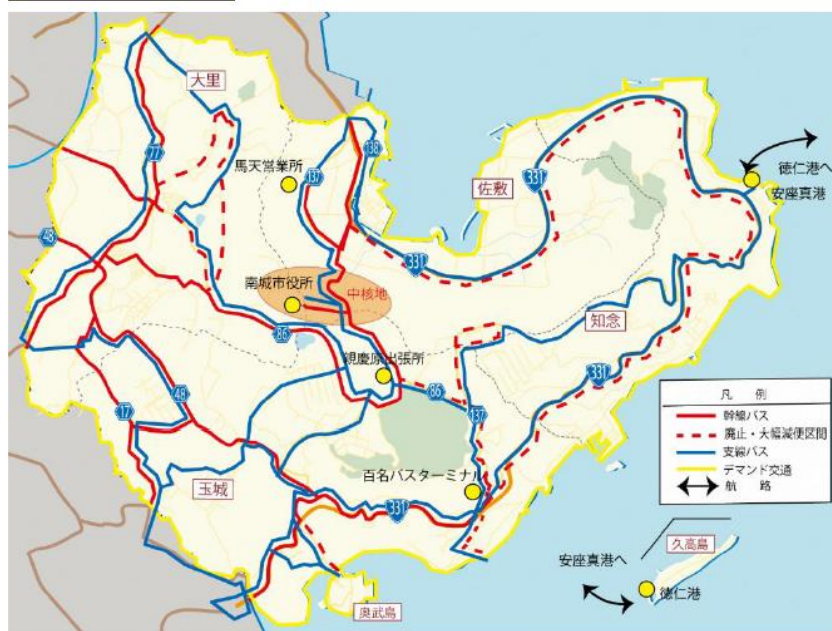
2.3 Nバスの導入

- 令和1年10月の再編で、中核地である市役所を起点とする市内線バスNバスを導入しました。
- また、南城市と市外を運行する路線バスを幹線バスと位置づけ、一部路線は、南城市役所バス停に集約し、Nバスと乗継できるように路線を見直しました。

再編前



2019年再編



- 市役所バス停で全ての支線バス(Nバス)と8系統の幹線バスが結節。
- 市役所～佐敷地区～与那原町～那覇バスターミナル間は、約20分の等間隔運行を導入。

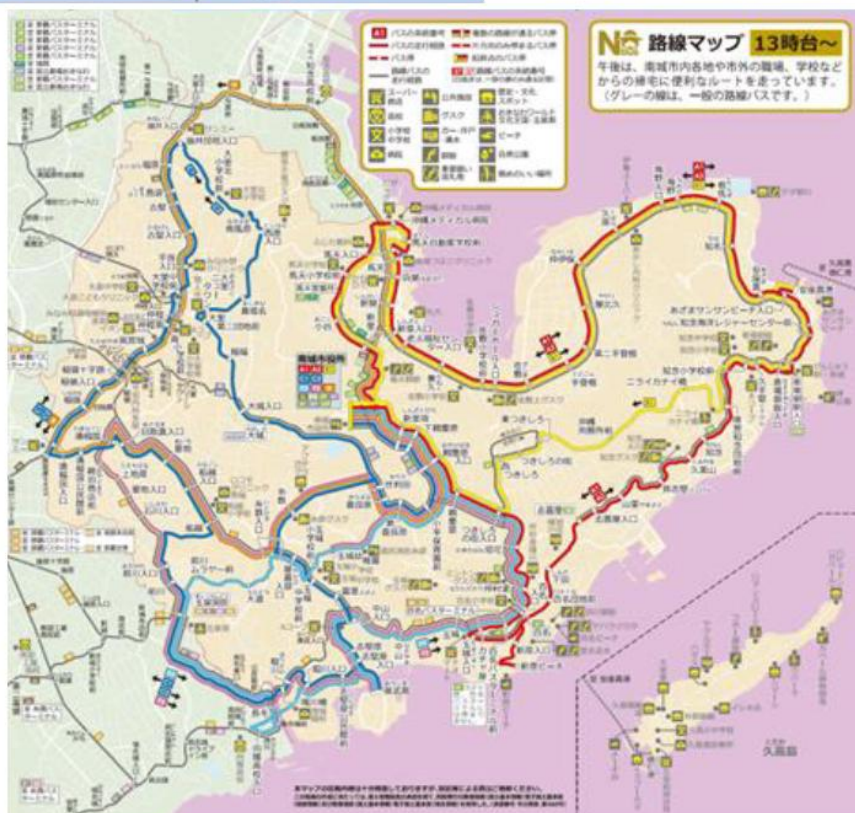
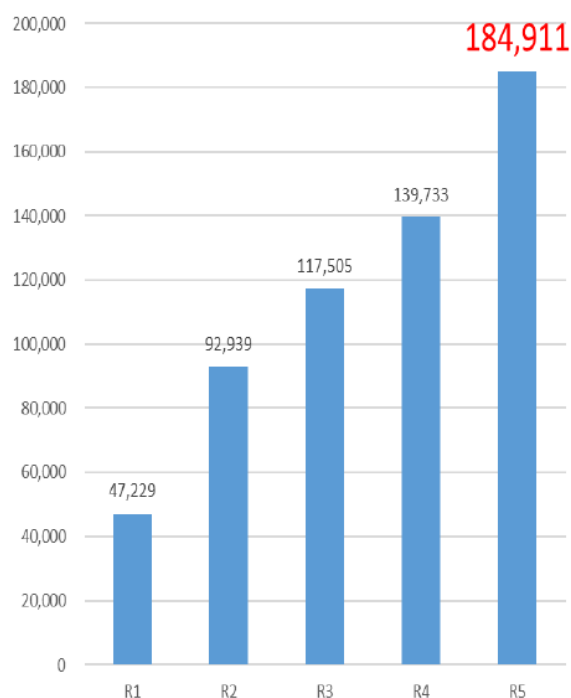


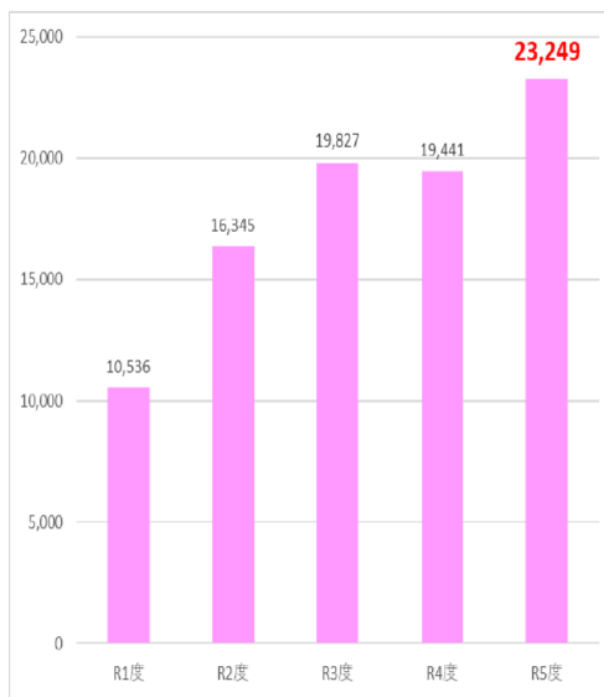
図-5.導入時のNバスのルート

3 Nバス利用者数推移

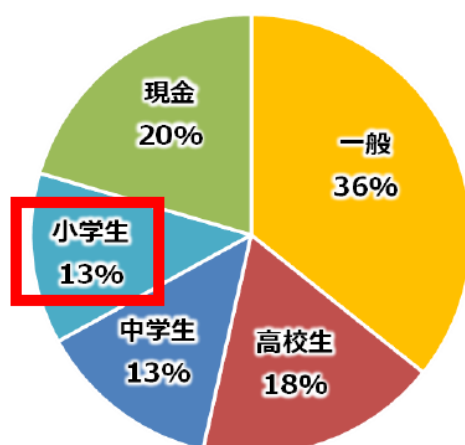
- Nバスの年間利用者数は、年々増加傾向にあり、通年で運行した令和2年度の92,939人/年から、令和5年度は、184,911人/年へと約2倍に増加しています。
- 小学生の利用者数は、令和4年度は、減少したものの令和5年度は、23,249人/年と最多となっています。



Nバス年間利用者数



Nバス小学生年間利用者数



R5 度 Nバス利用者内訳

4 Nバス運賃体系

- 通常料金は、大人・中高生が300円、小学生が150円となっています。
- 南城市民が利用しやすいよう、市民料金を設定し、回数券かNバスOKICAを使用することで、大人160円、小中高生80円となっております。

大人	300円
中高校生	300円
小学生	150円
未就学児	無料

南城市民にお得な回数券



Nバス回数券

大人	1,600円 (160円/枚)
中高校生	800円 (80円/枚)
小学生	800円 (80円/枚)

市民対象 回数券10枚綴り

Nバス1日乗車券



Nバス1日乗車券

大人	700円
中高校生	500円
小学生	350円
未就学児	無料

アニメコラボ1日乗車券



白い砂のアクアトープ1日乗車券

南城市を舞台としたTVアニメ『白い砂のアクアトープ』デザインとコラボしたNバス1日乗車券

大人のみ	700円
------	------

- 注1 区分は大人料金700円のみとなります。
 注2 販売所は、沖縄バス南城西出張所のみとなります。
 注3 郵送等での販売は行っておりません。
 注4 ご利用の際は、沖縄バス南城西出張所にてご乗車(利用)日を押印後のご利用をお願いいたします。



【回数券/1日乗車券 販売場所及び販売日時】

- 沖縄バス南城西出張所（南城市役所内レストラン隣）（毎日）午前9:00～12:00 午後13:00～19:00
- あざま共同売店（試験的に販売中）（月木金土日）6:30～18:00（水）10:30～15:00（火）定休日
- がんじゅう駅・南城（試験的に販売中）（毎日）9:00～18:00

5 Nバスの運行見直し

- 令和1年10月導入後、利便性向上、利用状況等を踏まえ、随時見直しを行っています。

令和4年4月

- フェリーの運行時間に合わせた急行便の運行（A1/A2、B1/B2）
- 早朝の通学便の設定（A1/A2、B1/B2）
- 路線の統合（A3→B1）
- 路線の終日双方向化（B1/B2）
- 向陽高校までのルート見直し（C1/C2、G）
- 利用が少ない夜間便の廃止（C1/C2、D2）
- 利用が少ない早朝便の廃止（D1）
- 利用が少ない系統の廃止（E）
- 利用が少ない土曜日、日祝日の廃止（F1）

令和5年4月

- 需要にあわせ早朝・夜間便のダイヤ見直し（A1/A2、B1/B2）
- 向陽高校への乗り入れと堀川地区のルート見直し（C1/C2、D2、F3）
- 向陽高校への乗り入れ（G）

令和6年4月

- 玉城こども園への乗り入れ廃止と路線統合（F1～F3→F）・見直し（A1/A2、B1/B2）
- 玉城こども園への乗り入れ廃止（D1）
- F3系統からの振り替えによる増便（D2）

(2)モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)支援事業の 趣旨および方向性について

資料②

第1回 南城市MM教育推進委員会資料

モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）
支援事業の趣旨および方向性について

令和6年8月28日

南城市MM教育推進委員会

1 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）支援事業の概要

- 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、小中高等学校におけるモビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）の普及を図るため、教員支援、自治体支援を行っています。
- 支援期間は原則3年間で、委員会運営費、モビリティ・マネジメント教育実施費用が資金面（上限250万円）での支援内容となっています。

表 1.モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）支援事業の概要

項目	内容	
事業の目的	小中学生・高校生を対象にしたモビリティ・マネジメント教育に取り組む地方公共団体に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、継続的に実施するための拠点づくりを目的として実施する。	
支援内容	①実施面での支援	情報提供、及び情報収集の支援
	②資金面での支援	支援対象経費 ・委員会運営費 （委員及び講師への謝金、旅費交通費、会場費等） ・モビリティ・マネジメント教育実施費用 （業務委託費、印刷製本費、資料等の購入費用等）
		1プロジェクトにつき、1年あたり250万円程度
	③支援期間	原則3年間
申請資格	本事業の応募資格者は、都道府県又は市区町村とする。2度目の申請を行う場合は、前回の支援終了後から5年以上経っていることが必須となる。	
選定方法	受理した申請書は、「モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）普及検討委員会」において審査を行い選定する。なお、必要に応じてヒアリングなどにより申請内容の確認を行う。	
実施期間中の確認	エコモ財団は支援団体が開催する委員会に事務局として参加するとともに、授業を見学する。また、複数年に渡る事業であっても、年度ごとに支援申請をし、実施計画等の確認を行う。	

2 南城市における事業概要

- 今回、南城市では「市内線バス「Nバス」を活用した交通環境学習」事業が採択されました。1年目は、佐敷小学校においてNバスを活用した教育プログラムの検討・実施、2年目は取組のブラッシュアップ、3年目は市内全小学校への展開を予定しています。

表 3. 市内線バス「Nバス」を活用した交通環境学習事業の概要

項目	内容
事業の目的	本市では、公共交通の見直しを進める中でNバスの運行が始まったが、地域間で利用に差が見られる状況である。その状況を踏まえ、子ども達を対象にNバスを活用したモビリティ・マネジメント教育を推進し、公共交通の理解を深めることを目指す。
実施体制	有識者を中心に、市民団体、対象小学校の校長、教員、市教育委員会、関連部署などで構成される実行委員会が事業を進める。
実施概要	1年目は佐敷小学校をモデル校に地域資源であるNバスを活用した教育プログラムを検討・実施し、学習ツールの作成も行う。2年目はその取り組みをブラッシュアップし、3年目には市内全小学校に展開する。 取り組みの成果として動画などを作成し、Nバス車内や学校・市のHPで情報発信を行い、利用促進と自己肯定感の向上を図る。

表 4. 市内線バス「Nバス」を活用した交通環境学習事業のスケジュール予定

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
4月			
5月		実施計画の検討	実施計画の検討
6月		①第1回委員会 ▲ 授業実施・副読本(別冊)検討	①第1回委員会 ▲ 授業実施
7月	▲ 実施計画の検討 関係者調整		▲ 副読本(別冊)策定
8月	▼ ①第1回委員会		
9月	▲ 授業実施 ▲ ツール検討・作成	②第2回委員会	②第2回委員会 ▲ 全小学校実施
10月			
11月	②第2回委員会 ▲ 視察		
12月	▼ ▼		
1月			
2月	▼ ③第3回委員会	▼ ③第3回委員会	▼ ▼ ▼ ③第3回委員会
3月	完了報告書提出	完了報告書提出	完了報告書提出

3 授業の進め方（案）

実施に向けて

項目	内容
実施	・総合的な学習の時間を活用し授業を実施。 ・45分授業を週2回実施。
実施に向けて	・子どもたちが自主性・主体性を持って考え、子どもたち自身が決定するものとし、大人は子ども達の「やりたい気持ち」を実現できるよう、子ども達の興味・関心を引き出すことを意識した助言・手法を検討する。 ・授業展開を踏まえ、有識者による授業を実施する。

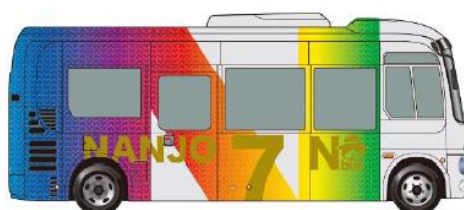
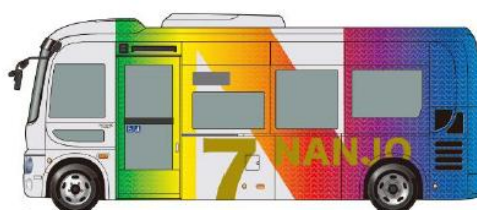
授業の進め方のイメージ

項目	内容
方向性の検討	・実施の方向性を絞る。 ・1学期の学習やその後の生活経験を通して、設定したテーマについてのイメージをふくらませる。
Nバス乗車	・地域・環境等の視点から子ども達が考える課題の発見に繋げる。
課題の設定	・「不思議」「調べたい解決したい」「やってみたい」等子どもの声を聞き、教師のねらいとすり合わせ課題を設定する。
解決方法を検討	・課題の設定と同時並行し、調べたいことを選定しながら、「Nバスの活用」につなげる。
情報整理	・調べた情報を分類・整理する。
考察	・分類・整理したところから課題について、考察しまとめを行う。 ・課題に対するアイデアを色々出してもらう。 ・制作に向けて取り組む。
振り返り	・問題解決の学びについて振り返り、次の学びへの展望をもつように促す。
発表	・実施してきたことを発表する機会をつくり、子どもたちの体験的・探究的な学びにつなげる。

※各項目の時期等は、進み具合を鑑み教師の判断で実施する。

4 ツール等の検討方法

- 授業内で継続的に実施出来る仕組みとして、子ども達の意見も取り入れながら、学習ツールの作成を検討していきます。
- ツールの作成にあたっては、子ども達にアイデアを出してもらう方向で進め、腹案として、Nバスすごろく、Nバスかるた、Nバス紙芝居等、Nバスをベースにした何かしらのツール等を想定しております。



＝ 参考 令和5年度の佐敷小学校における取組 ＝

項目	内容
学習名称	南城市のNバスを利用した歴史史跡巡り（ふるさと学習）
学習のねらい	・南城市内を走るNバスを利用して、「市内歴史史跡巡り」を児童目線で創る過程の中で、自分たちの住む地域や南城市の良さについて再認識する。 ・地域の歴史等に目を向け、体験をしながら課題を発見し、小学生なりの方法で諸課題の解決のために積極的に関わり調査し実践力を養う。 ・自分たちの創ったNバスの利用が、これからの南城市の観光やまちづくりに貢献でき社会に働きかける機会となり、より自分事としてかかわる力を育てる。
実施内容	・総合的な学習の時間を柱に、各教科を横断的な学習として取り組んだ。平和学習を入り口として、南城市内の平和史跡調べ、身近な平和に関連する史跡等の調査をした。 ・東京成徳大学の寺本先生を招聘し、エコを視点としてNバスの利用と自家用車を考え、比較検討しながら交通環境のあり方を自分なりに考えること目的にした授業をしていた。また、職員向けにも「授業の取り組みの説明」と「交通モビリティの考え」等の講話をしていただいた。 ・調べ学習や見学、聞き取り調査を通じて、市内に点在する平和史跡や市のよさを発信できる場所等を、Nバスを利用して巡るルートを自分たちで考え、Nバスの利用やその良さを提案した。 ・聞き取り調査の結果を踏まえ、外国の方々向けに南城市及びNバスのアピール用ポスターを英語で制作した。観光協会やNバスのセンターの協力を得て、市の道の駅「がんじゅう駅」でポスター掲示等を一か月間掲示し、情報発信をした。 ・ある学級では、Nバスで聞き取り調査をしている中で海岸の汚れに関心が向かった。海岸清掃を経てゴミや拾った物を利用してアート作品を制作した。作品はチャリティー販売され、収益金は能登半島地震復興のために寄付された。



▲寺本先生の授業の様子



▲Nバスの良さや提案の様子



▲聞き取り調査の様子



◀チャリティー販売の様子

2. 第2回委員会

2-1 議事次第

令和6年度 第2回南城市MM教育推進委員会

日時：令和7年3月11日（火）10時～

場所：南城市役所3階庁議防災室

次 第

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

（1）令和6年度南城市MM教育実施報告について・・・資料①

（2）令和7年度スケジュール(案)について・・・資料②

4. その他

（1）意見交換

（2）次回開催について

配布資料一覧	資料①南城市モビリティ・マネジメント教育実施報告 資料②令和7年度スケジュール(案)
--------	---

2-2 会議資料

(1)資料①令和6年度 南城市モビリティ・マネジメント教育実施報告



ハートのまち南城市へようこそ!

資料①

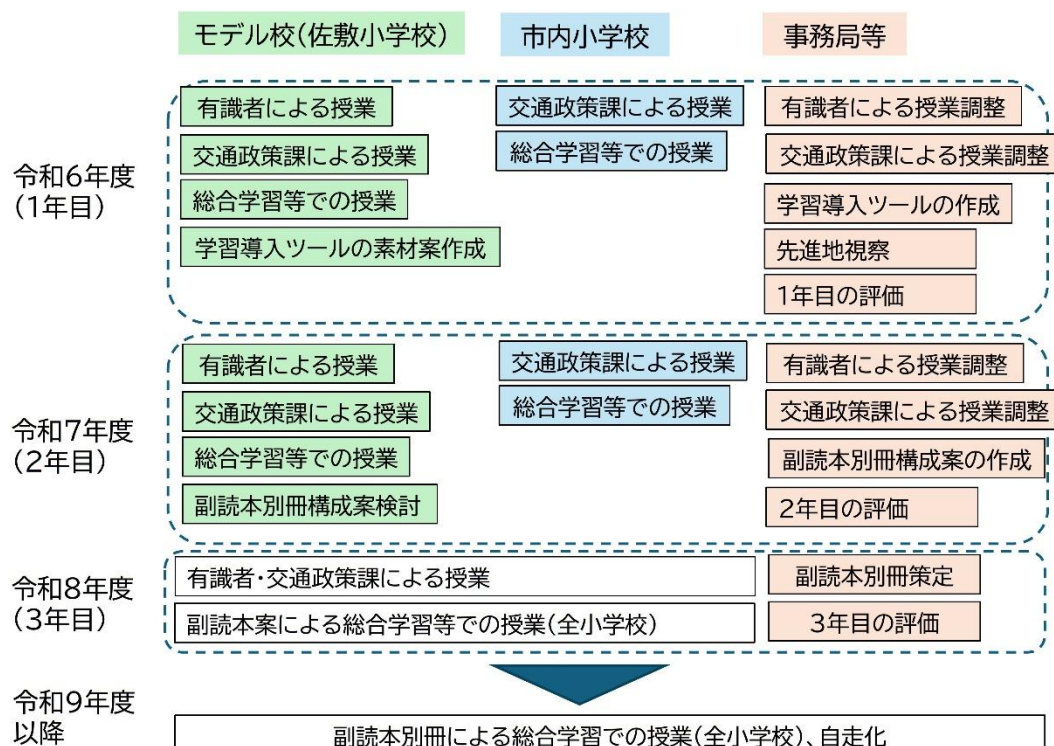
令和6年度 南城市モビリティ・マネジメント教育実施報告

南城市モビリティ・マネジメント教育推進委員会
令和7年3月11日



Nanjo City Office

1.事業実施の流れ



2. 令和6年度の実施内容



2-1 令和6年度の実施内容の概要

今年度は、モデル校の佐敷小学校を中心に、有識者による授業や乗車体験、ツール作成などの取組が実施されました。また、事務局においては先進地視察を行っています。

区分	取組名	取組概要
モデル校 (佐敷小学校)	有識者による授業	名桜大学特任教授の寺本氏、バスマップ沖縄主宰谷田貝氏による授業を実施
	市交通政策課による授業	南城市交通政策課による授業を実施
	乗車体験	児童たちが考えた行程で、乗車体験を実施。 おきなわワールド等訪問
	ツール作成	利用促進につながるツールとして、缶バッジや、トラップ、かるた、絵本、替え歌等を作成
	Nバス車内の飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、クリスマスのNバス車内の飾りつけを実施
市内小学校 (知念小学校)	市交通政策課による授業	南城市交通政策課による授業を実施
	乗車体験	児童たちが考えた行程で、乗車体験を実施。 美らいちご等訪問
	Nバス車内の飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、バレンタインデーのNバス車内の飾りつけを実施
事務局	先進地視察	MM教育の先進地である札幌市を視察

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

①有識者による授業(谷田貝氏)

バスマップ沖縄主宰の谷田貝氏より、質問への回答という形式で、バス車両の大きさの違いや、利用目的の違いなどについて紹介していただき、その後、Nバスとそれ以外のバスの違いについて考えてもらう授業が行われました。

疑問への回答

Nバスは 小さい



…そんなにたくさんお客さんがいるわけではない

おまけ：佐敷小学校を走る市バス



36番
南城市役所～
糸満バスターミナル
南城市と糸満市をつなぐ、
唯一の路線
本数はとても少ない

▲授業資料



▲授業風景

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

①有識者による授業(寺本氏)

名桜大学特任教授の寺本氏により、南城市の地域資源であるNバスについて、児童やその家族の利用促進に向けて、多角的な視点から気づきを生み出すことを目的に授業が実施されました。
沖縄県地元紙(沖縄タイムス社2025年1月30日)に授業風景が掲載されました。

モビリティ・マネジメント出前授業・指導案

2025年1月10日、南城市立佐敷小学校6年1組 授業者 寺本 氏

1 趣旨 沖縄本島に居住する人々の暮らしに自動車利用が占める割合は大きい。ゆいレール以外に鉄道路線が無いのも一因であるが、公共バスにおいては市民の3割しか利用していない実態もある。また、沖縄を巡れる年間1000万人の観光客も同様利用を限ればレンタカー・移動が困難になる。その代替手段として移動バスが利用されている。移動の課題や車を利用する自然への理解、駐車場不足、乗降は困難である。一方、交通弱者にとって「移動手段がなく、家族や知人の送迎を頼むしかない(67%)」との南城市の調査結果も出ている。これらの「スマート」に人が移動できる暮らしの状況に向けて、まずは身近に存在する暮らしから、公共バス(モビリティ・マネジメント)や自転車、徒歩・歩行者の移動手段の活用を促す。移動の課題や車を利用する自然への理解、駐車場不足、乗降は困難である。一方、交通弱者にとって「移動手段がなく、家族や知人の送迎を頼むしかない(67%)」との南城市の調査結果も出ている。これらの「スマート」に人が移動できる暮らしの状況に向けて、まずは身近に存在する暮らしから、公共バス(モビリティ・マネジメント)や自転車、徒歩・歩行者の移動手段の活用を促す。移動の課題や車を利用する自然への理解、駐車場不足、乗降は困難である。一方、交通弱者にとって「移動手段がなく、家族や知人の送迎を頼むしかない(67%)」との南城市の調査結果も出ている。これらの「スマート」に人が移動できる暮らしの状況に向けて、まずは身近に存在する暮らしから、公共バス(モビリティ・マネジメント)や自転車、徒歩・歩行者の移動手段の活用を促す。

2 本時の目標 多様な価値観を持った利用者の乗り物として公共バスの役割を認識し、より魅力を感じてもらうための工夫が必要か、アイデアを出し合い、自分たち小学生でもできる移動利用の促進の提案と計画を立てていくことができる。

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 「乗ってよし、乗ってよしのバス利用をすすめる」という授業の目的について児童を促す。	・目的意識を持って移動手段としての「乗ってよし」と「Nバス」の役割を認識させる。
展開	2 南城市の公共交通の現状を児童・家族・友人の協力のもとで認識し、Nバス利用のメリット・デメリットを挙げてみる。	・観光客に利用されるバスを数多く見せる(例：観光バスは乗客が多いので乗客の乗車を促す)。・費用の負担を減らすことができる。
まとめ	3 南城市の公共交通の現状を児童・家族・友人の協力のもとで認識し、Nバス利用のメリット・デメリットを挙げてみる。	・費用の負担を減らすことができる。

メリット・デメリット(自家車と公共バス(Nバス)の10の利用比較

比較の観点	自家車利用	公共(路線)バス利用
費用	自家車の購入や維持費・車検に多額の費用がかかる。	1 回当たりの費用(料金)がかなり少なく、定期的な費用もある。
飲酒	飲酒運転になるため絶対に飲めない。	運転中や酔った状態で飲酒もできる。
渋滞	多数の車両が道路を使用し渋滞が発生しやすい。	大人数の移動に便利のため、走る車を減らせ渋滞も少なくなる。
駐車場	車両の台数が必要になる。	バスがとるスペースだけで可。
排気ガス・CO2	電気自動車を除き、車両の台数分排気ガス・CO2が出される。	燃料電池バス以外は排気ガス・CO2を少しは出す。
座席シートからの視野	座席が低いので、道路に木や木などが多く見えにくい。	座席が高いので、木や木を乗り越えても道路の景色を遠くから眺めることができる。
交通事故	交通事故を起こす確率がバスより高い。	交通事故を起こす確率は自家車より格段に低い。
利便性	好きな時間に自分の目的地まで移動できる。	運行時間に限られバス路線沿いしか移動できない。
会話	車内で同乗者とは会話できる。好きな音楽を流せる。	乗合わせた客同士(市民や観光客)で挨拶や会話ができる。
快適さ	雨や暑射しが強い日でもエアコンの効いた車内で快適に過ごせる。	バス停での待機、雨や暑射しが強い場合、バス停で待つ場合がある。



▲指導案

▲授業資料

▲寺本氏による授業風景

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

②外部講師による授業(南城市交通政策課)

南城市交通政策課より、南城市内の公共交通の現状についての説明を受け、実践編として、Nバスマップを使い時刻と目的地を設定し、行き方について調べました。

1. 南城市の公共交通



公共交通の現状

【既存の公共交通】

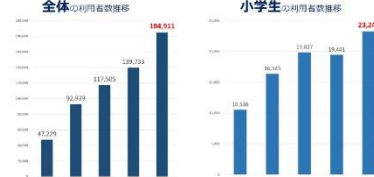
- バス
 - ・路線バス、コミュニティバス(Nバス/R13年10月から運行)
- タクシー
 - ・大里タクシー、山一交通 市内全域
- デマンド交通
 - ・おでかけなんじい 市内全域
 - ・おでかけなんじい 市外28ヶ所(半日運行)
- 路線バス
 - ・久高海運 安里海岸→久高港



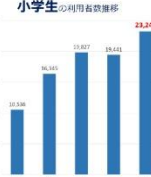
3. Nバスの利用状況



全体の利用状況



小学生の利用状況



4. モビリティ・マネジメント教育



モビリティマネジメント教育を通して、公共交通の理解を深めてもらうため、南城市交通政策課は、6年2組さんの乗ってみたい！知りたいたい！作りたい！を応援します！！

移動を楽しみ、みんなで乗り育てるNバスへ

5. Nバスマップの活用



実践編

Nバスマップで
行きたい場所を調べてみよう！



▲授業の資料

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

③乗車体験

総合学習の時間を使って、児童が検討した乗車体験の企画にもとづき、①Nバスを通して南城市の魅力を発見する、②観光客の目線でNバスを利用して良さをみつけるの2つの目的のもと、おきなわワールドまでの体験乗車が実施されました。

乗車体験のしおりは、児童が乗車体験を行うための手引きとして作成されています。内容は以下の通りです。

- 1. ねらい**
 - ・Nバスに乗って、南城市の魅力を発見する。
- 2. 日程**
 - 2024年11月14日(木)
- 3. 目的地**
 - おきなわワールド
- 4. スケジュール**
 - 07:40 佐敷小学校集合
 - 08:00 Nバス乗車
 - 08:10 Nバス乗車
 - 08:20 南城市観光バスセンター集合
 - 08:30 南城市観光バスセンター集合
 - 08:40 南城市観光バスセンター集合
 - 08:50 南城市観光バスセンター集合
 - 09:00 南城市観光バスセンター集合
 - 09:10 南城市観光バスセンター集合
 - 09:20 南城市観光バスセンター集合
 - 09:30 南城市観光バスセンター集合
 - 09:40 南城市観光バスセンター集合
 - 09:50 南城市観光バスセンター集合
 - 10:00 南城市観光バスセンター集合
 - 10:10 南城市観光バスセンター集合
 - 10:20 南城市観光バスセンター集合
 - 10:30 南城市観光バスセンター集合
 - 10:40 南城市観光バスセンター集合
 - 10:50 南城市観光バスセンター集合
 - 11:00 南城市観光バスセンター集合
 - 11:10 南城市観光バスセンター集合
 - 11:20 南城市観光バスセンター集合
 - 11:30 南城市観光バスセンター集合
 - 11:40 南城市観光バスセンター集合
 - 11:50 南城市観光バスセンター集合
 - 12:00 南城市観光バスセンター集合
 - 12:10 南城市観光バスセンター集合
 - 12:20 南城市観光バスセンター集合
 - 12:30 南城市観光バスセンター集合
 - 12:40 南城市観光バスセンター集合
 - 12:50 南城市観光バスセンター集合
 - 13:00 南城市観光バスセンター集合
 - 13:10 南城市観光バスセンター集合
 - 13:20 南城市観光バスセンター集合
 - 13:30 南城市観光バスセンター集合
 - 13:40 南城市観光バスセンター集合
 - 13:50 南城市観光バスセンター集合
 - 14:00 南城市観光バスセンター集合
 - 14:10 南城市観光バスセンター集合
 - 14:20 南城市観光バスセンター集合
 - 14:30 南城市観光バスセンター集合
 - 14:40 南城市観光バスセンター集合
 - 14:50 南城市観光バスセンター集合
 - 15:00 南城市観光バスセンター集合
 - 15:10 南城市観光バスセンター集合
 - 15:20 南城市観光バスセンター集合
 - 15:30 南城市観光バスセンター集合
 - 15:40 南城市観光バスセンター集合
 - 15:50 南城市観光バスセンター集合
 - 16:00 南城市観光バスセンター集合
 - 16:10 南城市観光バスセンター集合
 - 16:20 南城市観光バスセンター集合
 - 16:30 南城市観光バスセンター集合
 - 16:40 南城市観光バスセンター集合
 - 16:50 南城市観光バスセンター集合
 - 17:00 南城市観光バスセンター集合
 - 17:10 南城市観光バスセンター集合
 - 17:20 南城市観光バスセンター集合
 - 17:30 南城市観光バスセンター集合
 - 17:40 南城市観光バスセンター集合
 - 17:50 南城市観光バスセンター集合
 - 18:00 南城市観光バスセンター集合
 - 18:10 南城市観光バスセンター集合
 - 18:20 南城市観光バスセンター集合
 - 18:30 南城市観光バスセンター集合
 - 18:40 南城市観光バスセンター集合
 - 18:50 南城市観光バスセンター集合
 - 19:00 南城市観光バスセンター集合
 - 19:10 南城市観光バスセンター集合
 - 19:20 南城市観光バスセンター集合
 - 19:30 南城市観光バスセンター集合
 - 19:40 南城市観光バスセンター集合
 - 19:50 南城市観光バスセンター集合
 - 20:00 南城市観光バスセンター集合
 - 20:10 南城市観光バスセンター集合
 - 20:20 南城市観光バスセンター集合
 - 20:30 南城市観光バスセンター集合
 - 20:40 南城市観光バスセンター集合
 - 20:50 南城市観光バスセンター集合
 - 21:00 南城市観光バスセンター集合
 - 21:10 南城市観光バスセンター集合
 - 21:20 南城市観光バスセンター集合
 - 21:30 南城市観光バスセンター集合
 - 21:40 南城市観光バスセンター集合
 - 21:50 南城市観光バスセンター集合
 - 22:00 南城市観光バスセンター集合
 - 22:10 南城市観光バスセンター集合
 - 22:20 南城市観光バスセンター集合
 - 22:30 南城市観光バスセンター集合
 - 22:40 南城市観光バスセンター集合
 - 22:50 南城市観光バスセンター集合
 - 23:00 南城市観光バスセンター集合
 - 23:10 南城市観光バスセンター集合
 - 23:20 南城市観光バスセンター集合
 - 23:30 南城市観光バスセンター集合
 - 23:40 南城市観光バスセンター集合
 - 23:50 南城市観光バスセンター集合
 - 24:00 南城市観光バスセンター集合
- 5. 注意事項**
 - ・乗車体験は、おきなわワールドまで行きます。
 - ・当日欠席の場合は学校に連絡してください。

▲乗車体験のしおり

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

③乗車体験



▲乗車体験の様子

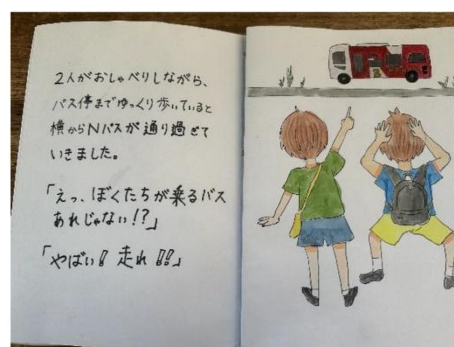
2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

④ ツール作成

今年度の学びを活かし、Nバスの利用促進のためのツールとして、缶バッジや絵本、トランプ、かるた等が作成されました。



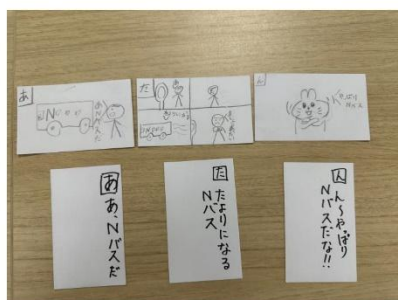
▲児童が作成した利用促進のためのツール

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

④ ツール作成



▲児童が作成した利用促進のためのツール

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

⑤Nバス車内の飾りつけ(クリスマス企画)

地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、児童によるNバスの車内をクリスマス仕様に飾りつけを行いました。



▲飾りつけをしたNバス車両

2. 令和6年度の実施内容



2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

⑥総合学習の授業

総合学習の時間などを使って、児童に自動車と公共交通のメリット・デメリットを考えてもらい、グループで話し合った結果をまとめてもらいました。

⑦学習発表会にて成果発表

MM教育で学んだこと、取り組んだことを成果として発表しました。



▲学習成果の発表状況



▲総合学習での検討材料

2. 令和6年度の実施内容



2-3 市内小学校(知念小学校)における取組

①外部講師による授業(南城市交通政策課)

南城市交通政策課より、南城市内の公共交通の現状についての説明を受け、実践編として、Nバスマップを使い時刻と目的地を設定し、行き方について調べました。



5. Nバスマップの使い方

▲南城市交通政策課の授業資料



▲南城市交通政策課による授業風景

2. 令和6年度の実施内容



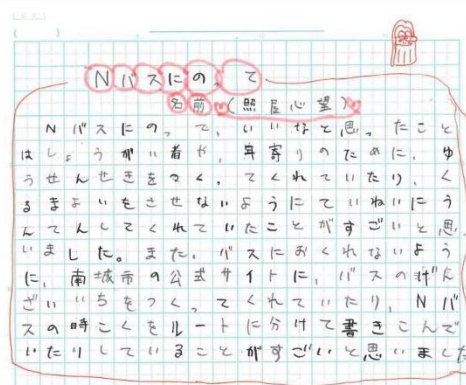
2-3 市内小学校(知念小学校)における取組

②乗車体験

Nバスマップを活用し、児童自身で目的地までどのバスで何時に行くかを調べ、計画を立ててNバスを乗車しました。乗車中には、優先席があることや、Nバスの現在地が分かるバスロケーションシステムがあることで、利便性向上に繋がっていることなど身をもって経験することが出来ました。



▲乗車体験の様子



▲乗車体験後の感想

2. 令和6年度の実施内容



2-3 市内小学校(知念小学校)における取組

③Nバス車内飾りつけ(バレンタイン企画)

佐敷小学校で、Nバス車内のクリスマス仕様の飾りつけが好評だったため、横展開として、地域バスへの愛着醸成、利用促進を目的に、Nバス車内をバレンタイン仕様に飾りつけを行いました。

また、沖縄県地元紙(沖縄タイムス社2025年2月13日)に飾り付け風景が掲載されたことにより、子ども達の自己肯定感が高まる取組にも繋げることが出来ました。



▲飾りつけをしたNバス車両

2. 令和6年度の実施内容



2-4 事務局等におけるその他取組

⑤先進地視察(北海道札幌市:緑丘小学校・札幌市都市交通課・北海道開発技術センター(dec))

委員(具志堅指導主事)・事務局(2名)で先進地視察を行いました。緑丘小学校では、研究授業・授業後の討議に参加し授業を行いました。本市指導主事が参加することで、先生側の意見と行政側の実施したいことのすり合わせに繋がりました。札幌市都市交通課との意見交換では、MM教育が10年以上続いているのは教育委員会との連携がとれていること。など継続的な取り組み実現に向けて意見交換を行いました。decでは、元小学校校長先生である新保先生と南城市らしいMMを立ち上げていくことについての意見交換を行いました。



▲視察時の風景

3. 令和6年度事業のまとめ



3-1 令和6年度事業の評価

①取組の実施状況からみた評価

- 取組については、概ね予定通り実施。
- 小学校での具体的な取組については、児童の意向をもとに進めており、クラスによる取組の熟度差がみられた。
- 知念小学校でも横展開の実施が出来たことにより関係性の構築に繋がった。

②効果(児童の関心の高まり等)からみた評価

- 児童からは、環境面や総合的な視点等から自家用車とNバスを比較した結果、Nバス支持が上がったことを踏まえると、MM教育の成果が反映されていると思われる。
- MM教育の導入ツール作成は、積極的にアイデアを出し合い、取り組んでいたので、関心は高かったと思われる。
- 児童から成果品を活用する旨の提案書が出されたこともあり、児童が作成した成果品のうち、低学年向け教材として活用が見込める絵本を市内小学校へ配布するために作成中。

③次年度以降の継続性からみた評価

- MM教育導入ツールの作成中。(次年度以降授業等で活用予定)
- モデル校(佐敷小学校)の2クラスでの実施状況を踏まえ、授業計画の見直しを行う必要がある。
- 副読本別冊の策定に向け、教育委員会、学校現場と引き続き連携していく必要がある。

(2) 資料②令和7年度スケジュール案について



ハートのまち南城市へようこそ!

資料②

令和7年度スケジュール(案)について

南城市モビリティ・マネジメント教育推進委員会
令和7年3月11日



Nanjo City Office

1. 令和7年度スケジュール(案)



1-1 令和7年度スケジュール(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会			第1回委員会 ・取組方針等					第2回委員会 ・中間報告等 ・副読本別冊調				第3回委員会 ・取組内容等
学校現場			佐敷小学校調整									
教育委員会				副読本別冊に 向けた調整								副読本別冊 構成案作成
備考												

4. 令和7年度の実施の方向性



①事務局

3ヵ年計画にもとづき、2年目の令和7年度は、副読本別冊の作成に向け、授業を実践していくよう調整を行う。

教育委員会と連携し、副読本別冊の構成案を検討。出来るだけ構成案に沿った授業を進めていくよう取組み、実践を通じ、副読本別冊の構成内容等の議論を行う。議論が整い次第、令和8年度を待たずして実施可能な場合、作成に向け着手する。

②モデル校(佐敷小学校)

副読本別冊の作成に向け、授業を実践していく。実践の中で、指導主事等を含め学校現場・教育委員会・事務局と連携していく。

副読本別冊の構成案を意識し、実践を通じて、副読本別冊の内容の議論を高められるよう取組みを行う。

児童へのアンケート調査を行い、取組みの評価を行う。

③その他市内小学校

小学4年生を対象に、交通政策課の出前授業1時間・先生による授業1時間の計2時間を市内全小学校で実施するように校長会・教頭会で依頼し、取組みを行う。

佐敷小学校での取組みを踏まえ、自走化を意識したMM教育の取組を行う。

児童へのアンケート調査を行い、取組みの評価を行う。

④その他

Nバスの愛着醸成に寄与すると思われるNバス車内の飾りつけについては、定形化を目指し市内各小学校にて実施する。

第6章 令和6年度事業の評価と令和7年度事業の進め方

1. 令和6年度事業の評価

「取組の実施状況」、「効果（児童の関心の高まり等）」、「次年度以降の継続性」の3つの視点から、令和6年度事業の評価を行った。

1-1 取組の実施状況からみた評価

- 取組については、概ね予定通り実施。
- 小学校での具体的な取組については、児童の意向をもとに進めており、クラスによる取組の熟度差がみられた。
- 知念小学校でも横展開の実施が出来たことにより関係性の構築に繋がった。

1-2 効果(児童の関心の高まり等)からみた評価

- 児童からは、環境面や総合的な視点等から自家用車とNバスを比較した結果、Nバス支持が上がったことを踏まえると、MM教育の成果が反映されていると思われる。
- MM教育の導入ツール作成は、積極的にアイデアを出し合い、取り組んでいたもので、関心は高かったと思われる。
- 児童から成果品を活用する旨の提案書が出されたこともあり、児童が作成した成果品のうち、低学年向け教材として活用が見込める絵本を市内小学校へ配布するために作成。

1-3 次年度以降の継続性からみた評価

- MM教育導入ツールの作成中。(次年度以降授業等で活用予定)
- モデル校(佐敷小学校)の2クラスでの実施状況を踏まえ、授業計画の見直しを行う必要がある。
- 副読本別冊の策定に向け、教育委員会、学校現場と引き続き連携していく必要がある。

2-1.実施スケジュール(案)

令和 7 年度は、副読本別冊の構成案作成に向け、以下のスケジュールでの実施を想定している。

表 6-1. 令和 7 年度事業のスケジュール(案)

[illegible]

2-2 令和7年度事業の実施方針

(1)事務局

- 3ヵ年計画にもとづき、2年目の令和7年度は、副読本別冊の作成に向け、授業を実践していくよう調整を行う。
- 教育委員会と連携し、副読本別冊の構成案を検討。出来るだけ構成案に沿った授業を進めていくよう取り組み、実践を通じ、副読本別冊の構成内容等の議論を行う。
- 議論が整い次第、令和8年度を待たずして実施可能な場合、作成に向け着手する。

(2)モデル校(佐敷小学校)

- 副読本別冊の作成に向け、授業を実践していく。実践の中で、指導主事等を含め学校現場・教育委員会・事務局と連携していく。
- 副読本別冊の構成案を意識し、実践を通じて、副読本別冊の内容の議論を高められるよう取り組みを行う。
- 児童へのアンケート調査を行い、取り組みの評価を行う。

(3)その他市内小学校

- 小学4年生を対象に、交通政策課の出前授業1時間・先生による授業1時間の計2時間を市内全小学校で実施するように校長会・教頭会で依頼し、取り組みを行う。
- 佐敷小学校での取り組みを踏まえ、自走化を意識したMM教育の取組を行う。
- 児童へのアンケート調査を行い、取り組みの評価を行う。

(4)その他

- Nバスの愛着醸成に寄与すると思われるNバス車内の飾りつけについては、定形化を目指し市内各小学校にて実施する。